

令和 5 年 度
教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価に関する報告書



令和 6 年 9 月
加須市教育委員会

目 次

1	はじめに	1
2	点検及び評価の基本方針	
	(1) 目的	1
	(2) 対象事業	1
	(3) 対象期間	1
	(4) 実施方法	2
3	令和5年度教育委員会関連事業一覧	3
4	各事業の点検評価	
	(1) 基本目標の達成度評価	8
	(2) 基本目標の取組状況	10
	(3) 各事業の達成度評価	14
5	令和4年度評価を踏まえた取組状況	46
6	学識経験者の意見	63
7	おわりに	84

1 はじめに

加須市教育委員会では、平成27年12月に制定した「加須市人づくり宣言～教育大綱～」に掲げる三つの市民の姿の実現を目指し、これからの時代にふさわしい本市の教育を総合的かつ計画的に推進するため策定した「第2次加須市人づくりプラン」に基づき、「家族・地域の絆を大切に、生きる力を醸成する」を基本理念として、7つの基本目標、26の施策を位置づけ、加須市の教育行政を総合的かつ計画的に推進していきます。

各事業の推進にあたっては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、毎年度、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しております。

※この点検及び評価は、事業ごとに作成した事業管理シートを基本とした、PDCAサイクル（計画・実行・評価・見直しのサイクル）による本市独自の行政評価システム「加須やぐるまマネジメントシステム」により実施します。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当っては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の基本方針

(1) 目的

加須市教育委員会が住民への説明責任を果たし、効果的な教育行政を推進するため、自己点検評価を行います。

(2) 対象事業

加須市人づくりプランに位置付けられている教育委員会に関連する全ての事業（93事業）を対象とします。

子育て支援課	1事業	生涯学習課	22事業
こども保育課	3事業	図書館課	5事業
スポーツ振興課	19事業	学校教育課	31事業
教育総務課	10事業	学校給食課	2事業
		合計	93事業

(3) 対象期間

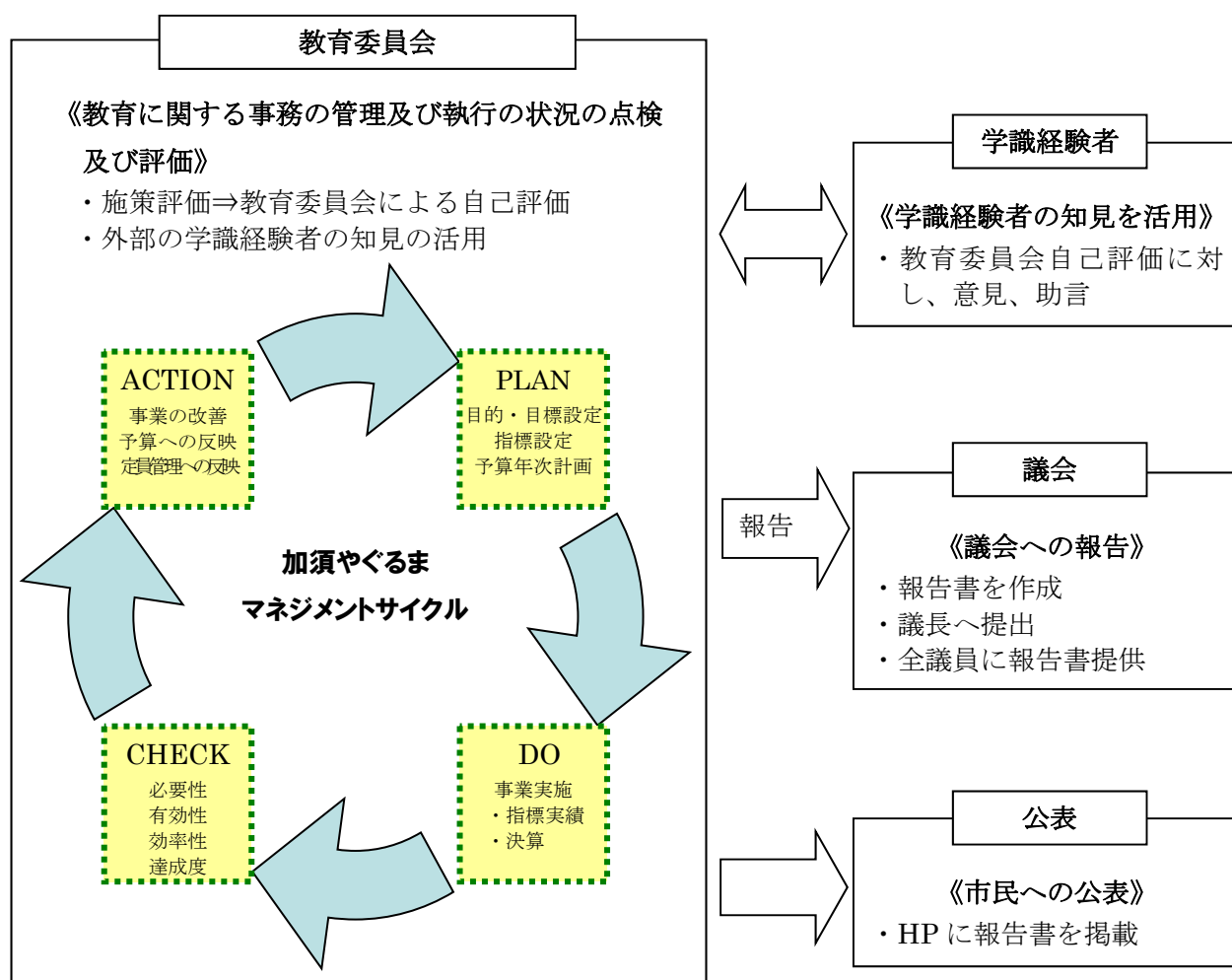
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(4) 実施方法

加須市総合振興計画後期基本計画の事業管理シートを活用し、各事業の実績に基づき、達成度について自己評価を行うとともに、その評価を踏まえ、方向性を検討しました。

また、令和4年度の点検・評価に対し、学識経験者からの意見・助言をいただいた事業の取組状況を検証し、これらを取りまとめました。

なお、令和5年度の点検・評価に当たりましても、外部の学識経験者の意見や助言をいただき、今後の事業推進に活用してまいります。



3 令和5年度教育委員会関連事業一覧

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
01自ら学ぶ力と確かな学力を育成します						
01幼児教育の推進						
	0101-02	2131-16		幼稚園預かり保育事業		こども局こども保育課
	0101-03	2215-03		保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
02一人ひとりを伸ばす教育の推進						
	0102-01	2211-05		少人数学級推進事業		学校教育部学校教育課
	0102-02	2211-11		学力アップ事業		学校教育部学校教育課
	0102-03	2211-12		小学校英語教育推進事業	主	学校教育部学校教育課
	0102-04	2211-13		中学校英語教育推進事業	主	学校教育部学校教育課
	0102-05	2211-20		サイエンススクール事業	主	学校教育部学校教育課
	0102-06	2211-30		小学校教材用備品整備事業		生涯学習部教育総務課
	0102-07	2211-31		中学校教材用備品整備事業		生涯学習部教育総務課
	0102-08	2211-32		生徒派遣援助事業		生涯学習部教育総務課
	0101-09	2215-03		保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
	0102-10	2314-04		ブックトーク・おはなし会開催事業	再掲	生涯学習部図書館課
	0102-11	2513-03		集会所管理運営事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
03教職員の資質能力の向上						
	0103-01	2211-08		学校訪問指導事業	主	学校教育部学校教育課
	0103-02	2211-07		学習指導改善研究事業	主	学校教育部学校教育課
	0103-03	2211-15		教師用教科書・指導書措置事業		学校教育部学校教育課
	0103-04	2211-16		社会科副読本資料作成事業		学校教育部学校教育課
	0103-05	2212-02		教育センター運営事業	再掲	学校教育部学校教育課
04 I C Tを活用した教育の推進						
	0104-01	2211-09		学校 I C T教育活用事業	主	学校教育部学校教育課
05特別支援教育の推進						
	0105-01	2211-14		特別支援教育推進事業		学校教育部学校教育課
	0105-02	2211-25		小学校特別支援教育就学奨励事業		学校教育部学校教育課
	0105-03	2211-26		中学校特別支援教育就学奨励事業		学校教育部学校教育課
06学びを支える経済支援						
	0106-01	2211-21		小学校就学援助事業		学校教育部学校教育課
	0106-02	2211-23		中学校就学援助事業		学校教育部学校教育課
	0106-03	2211-27		河野博士育英事業		学校教育部学校教育課
	0106-04	2211-24		避難者支援就学援助事業		学校教育部学校教育課
07自立する力の育成						
	0107-04	2211-17		防災教育推進事業		学校教育部学校教育課
	0107-10	2211-22		学校グリーンカーテン事業		学校教育部学校教育課
	0107-15	2211-18		中学生夢創造チャレンジ事業	主	学校教育部学校教育課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
		0107-16	2211-19	市職員マンパワー活用事業		学校教育部学校教育課
		0107-17	2211-12	小学校英語教育推進事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0107-18	2211-13	中学校英語教育推進事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0107-19	2211-20	サイエンススクール事業	再掲	学校教育部学校教育課
02豊かな心を育む取組を推進します						
01いじめ対策の充実						
		0201-01	2212-01	いじめ・不登校対策事業	主	学校教育部学校教育課
		0201-02	2212-02	教育センター運営事業	再掲	学校教育部学校教育課
02不登校対策を中心とした教育相談の推進						
		0202-01	2212-02	教育センター運営事業	主	学校教育部学校教育課
		0202-02	2212-01	いじめ・不登校対策事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0101-03	2215-03	保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
03学校等における人権教育の推進						
		0203-01	2513-03	集会所管理運営事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0203-02	2511-04	人権教育推進事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
		0203-03	2211-08	学校訪問指導事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0203-04	2211-07	学習指導改善研究事業	再掲	学校教育部学校教育課
03安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します						
01安全・安心な給食の提供						
		0301-01	2213-01	給食センター管理運営事業	主	学校教育部学校給食課
		0301-02	2213-06	給食費収納対策事業		学校教育部学校給食課
02食育の推進						
		0302-01	2211-07	学習指導改善研究事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0302-02	2213-01	給食センター管理運営事業	再掲	学校教育部学校給食課
03健康の保持増進						
		0303-01	2213-02	小学校健康推進事業		学校教育部学校教育課
		0303-02	2213-03	中学校健康推進事業		学校教育部学校教育課
04質の高い教育のための環境づくりを推進します						
01安全で安心な教育環境の整備						
		0401-01	2214-01	小学校管理運営事業	主	生涯学習部教育総務課
		0401-02	2214-02	中学校管理運営事業	主	生涯学習部教育総務課
		0401-03	2141-01	公立幼稚園管理運営事業		こども局こども保育課
		0401-06	2214-03	学校教育管理事業		学校教育部学校教育課
		0401-07	2214-04	小学校施設整備事業	主	生涯学習部教育総務課
		0401-08	2214-05	中学校施設整備事業	主	生涯学習部教育総務課
		0401-09	2142-01	公立幼稚園施設整備事業	主	こども局こども保育課
02学校 I C T 環境の適正な管理						
		0402-01	2211-09	学校 I C T 教育活用事業	再掲	学校教育部学校教育課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
		0402-02	2214-04	小学校施設整備事業	再掲	生涯学習部教育総務課
		0402-03	2214-05	中学校施設整備事業	再掲	生涯学習部教育総務課
03市立学校の適正な配置						
		0402-01	2215-03	保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0402-02	2214-04	小学校施設整備事業	再掲	生涯学習部教育総務課
		0402-03	2214-05	中学校施設整備事業	再掲	生涯学習部教育総務課
		0403-04	2142-01	公立幼稚園施設整備事業	再掲	こども局こども保育課
05家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します						
	01学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進					
		0501-01	2215-01	学校いきいきステーション事業	主	学校教育部学校教育課
		0501-02	2215-02	地域密着型教育広報事業		学校教育部学校教育課
		0501-03	2215-06	あいさつふれあい推進事業		学校教育部学校教育課
		0501-04	2215-03	保・幼・小中一貫教育事業	主	学校教育部学校教育課
		0501-06	2215-05	家庭の学びと地域の絆推進事業		生涯学習部生涯学習課
		0501-07	2312-05	まちかど美術館推進事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0501-08	2215-16	かぞ子ども大学事業		こども局子育て支援課
		0501-09	2215-08	通学路安全対策事業		学校教育部学校教育課
		0501-21	2211-18	中学生夢創造チャレンジ事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0501-22	2511-04	人権教育推進事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
		0501-23	2513-03	集会所管理運営事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
02子どもの健やかな成長の支援						
03青少年の健全育成の推進						
		0503-01	2215-17	二十歳の集い開催事業		生涯学習部生涯学習課
		0503-02	2215-07	青少年健全育成事業		生涯学習部生涯学習課
06生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります						
	01生涯学習活動の推進					
		0601-02	2311-02	生涯学習推進計画進行管理事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-03	2311-06	生涯学習管理事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-04	2311-03	生涯学習きっかけづくり支援事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-05	2311-04	市民学習カレッジ事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-06	2311-05	シニアいきいき大学事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-07	2311-09	文化・学習センター管理運営事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-08	2311-13	加須未来館管理運営事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-12	2311-12	余裕教室等活用事業		生涯学習部生涯学習課
02芸術文化の振興						
		0602-01	2312-03	文化・学習センター芸術文化振興事業		生涯学習部生涯学習課
		0602-02	2312-01	地域文化振興事業		生涯学習部生涯学習課
		0602-03	2312-02	地区文化祭振興事業		生涯学習部生涯学習課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
		0602-04	2312-04	偉人顕彰事業		生涯学習部生涯学習課
		0602-05	2312-05	まちかど美術館推進事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
		0602-06	2313-03	伝統文化継承支援事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
	03文化財の保存継承による郷土愛の醸成					
		0603-01	2313-04	騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業		生涯学習部生涯学習課
		0603-02	2313-02	加須インターネット博物館管理運営事業		生涯学習部生涯学習課
		0603-03	2313-03	伝統文化継承支援事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0603-04	2313-01	文化財の保存と活用による地域活性化事業		生涯学習部生涯学習課
	04読書活動の推進					
		0604-03	2314-03	絵本との親子ふれあい事業		生涯学習部図書館課
		0604-04	2314-04	ブックトーク・おはなし会開催事業	主	生涯学習部図書館課
		0604-05	2314-05	図書資料整備充実事業		生涯学習部図書館課
		0604-06	2314-06	図書館管理運営事業		生涯学習部図書館課
		0604-07	2314-07	図書館まつり開催事業		生涯学習部図書館課
	05人権教育の推進					
		0605-04	2511-04	人権教育推進事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0605-07	2513-03	集会所管理運営事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
	07スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります					
	01スポーツ参画人口の拡大					
		0701-02	2411-02	スポーツ・レクリエーション推進計画進行管理事業		健康スポーツ部スポーツ振興課
		0701-03	2411-03	スポーツ普及推進事業		健康スポーツ部スポーツ振興課
		0701-04	2411-04	市民体育祭支援事業		健康スポーツ部スポーツ振興課
		0701-05	2411-05	スポーツ教室等開催事業		健康スポーツ部スポーツ振興課
		0701-06	2411-06	グラウンドゴルフ推進事業		健康スポーツ部スポーツ振興課
		0701-07	2411-07	健康スポーツ推進事業		健康スポーツ部スポーツ振興課
		0701-08	2211-07	学習指導改善研究事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0701-13	2411-13	スポーツ支援人材育成・活用事業		健康スポーツ部スポーツ振興課
		0701-14	2215-01	学校いきいきステーション事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0701-15	2411-15	総合型地域スポーツクラブ育成事業		健康スポーツ部スポーツ振興課
		0701-16	2411-16	スポーツ施設整備事業		健康スポーツ部スポーツ振興課
		0701-17	2411-17	スポーツ施設管理運営事業		健康スポーツ部スポーツ振興課
		0701-18	2411-18	学校体育施設開放管理運営事業		健康スポーツ部スポーツ振興課
		0701-19	2411-19	民間・県施設活用事業		健康スポーツ部スポーツ振興課
		0701-21	2411-21	スポーツ施設安全点検事業		健康スポーツ部スポーツ振興課
		0701-22	2214-01	小学校管理運営事業	再掲	生涯学習部教育総務課
		0701-23	2214-02	中学校管理運営事業	再掲	生涯学習部教育総務課
	02スポーツを核とした交流人口の拡大					
		0702-01	2412-01	女子硬式野球振興事業		健康スポーツ部スポーツ振興課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
		0702-02	2412-02	クライミング普及事業		健康スポーツ部スポーツ振興課
		0702-03	2412-03	自転車普及推進事業		健康スポーツ部スポーツ振興課
		0702-05	2412-04	こいのぼりマラソン大会開催事業		健康スポーツ部スポーツ振興課
		0702-06	2412-05	加須ふじの里駅伝大会支援事業		健康スポーツ部スポーツ振興課
		0702-07	2412-06	全国大会等支援事業		健康スポーツ部スポーツ振興課
体系外						
		－	2211-28	教育委員会運営事業		生涯学習部教育総務課
		－	2211-29	教育委員会事務局管理事業		生涯学習部教育総務課
		－	2211-02	加須市人づくりプラン進行管理事業		生涯学習部教育総務課

4 各事業の点検評価

(1) 基本目標の達成度評価

総合振興計画における評価基準を準用し、各基本目標の達成度評価を行いました。

全93事業109指標のうち、「目標を達成」が30指標（27.5%）、「概ね達成」が31指標（28.4%）と、61指標については事業実施による効果を得ることができました。一方で、「やや遅れている」が30指標（27.5%）、「大幅に遅れている」が18指標（16.5%）ありました。これらの48指標については、現状の課題の分析を踏まえ、更なる取組が必要です。

【達成度評価の状況】

目標	達成度評価	区分	目標を達成	概ね達成	やや遅れている	大幅に遅れている	合計
基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します	概ね達成できた	指標数	11	11	8	0	30
		割合	36.7%	36.7%	26.7%	0.0%	—
基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します	達成できなかった	指標数	1	0	0	2	3
		割合	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	—
基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します	計画どおり達成できた	指標数	1	3	0	0	4
		割合	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	—
基本目標4 質の高い教育のための環境づくりを推進します	概ね達成できた	指標数	2	4	0	1	7
		割合	28.6%	57.1%	0.0%	14.3%	—
基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します	達成できなかった	指標数	3	2	3	5	13
		割合	23.1%	15.4%	23.1%	38.5%	—
基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります	達成できなかった	指標数	5	8	10	6	29
		割合	17.2%	27.6%	34.5%	20.7%	—
基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります	達成できなかった	指標数	6	3	7	4	20
		割合	30.0%	15.0%	35.0%	20.0%	—
その他の教育事業	達成できなかった	指標数	1	0	2	0	3
		割合	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	—
合 計		指標数	30	31	30	18	109
		割合	27.5%	28.4%	27.5%	16.5%	—

※再掲を除く。

【基本目標の達成度評価基準】

評価	達成度評価基準
計画どおり達成できた	基本目標を構成する全ての事業（取組）において達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」であった。
概ね達成できた	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が80%以上であった。
やや達成できなかった	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が80%未満であった。
達成できなかった	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が50%未満であった。

【事業（取組）の達成度評価基準】

評価	達成度評価基準
目標を達成	当該年度に実施すべき取組みを予定通り、計画的に行い、事業実施による効果が表れた。 「効果が表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の100%以上に達し、当該年度の目標を達成した。
概ね達成	当該年度に実施すべき取組みを円滑に行い、事業実施による効果が概ね表れた。 「効果が概ね表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の80%以上に達したものをいう。
やや遅れている	当該年度に実施すべき取組みを行ったものの、事業実施による効果が小さかった。 「効果が小さかった」とは、成果指標の実績値が目標値の80%未満となったものをいう。
大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっており、事業実施による効果が表れなかった。 「効果が表れなかった」とは、成果指標の実績値が目標値の50%未満となったものをいう。

(2) 基本目標の取組状況

それぞれの基本目標における具体的な取組状況は、以下のとおりです。

基本目標1：自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

1人1台の学習用端末を文房具のように扱える児童生徒の育成を目指して、令和4年度から全ての児童生徒に家庭用の充電アダプターを貸与し、学習用端末の持ち帰りを可能にしました。これにより令和5年度は、学校での学習と家庭での学習の連続性が図られ、学習用端末の更なる活用が促進されました。また、令和4年度にICT活用推進校として指定した4つの小・中学校に加え、新たに4つの小・中学校に研究指定を行いました。さらに、令和4年度から実施している実践研究に基づく成果や課題を共有するためのオンラインミニ講座「加須学びDX」を継続して行い、1人1台端末の効果的な活用を市内各校に広めました。これにより学習用端末を活用した授業が推進され、児童生徒の端末を扱う技能が向上しました。

思考力・判断力・表現力の育成を目指した「加須市チャレンジシート」の全小・中学校への教材の提供、「加須まなびTime」の実施による生徒への学びの機会の提供を行うほか、各校の学力向上に係る代表者で組織する加須市教育課程検討委員会を定期的に開催し、加須市の課題を共有し現状を踏まえた学力向上の取組に係る協議を行いました。

また、埼玉県学力・学習状況調査のCBT化に伴い、「加須市チャレンジテスト」をCBTで実施しました。さらに、加須市独自の分析シートを活用して結果を考察することにより、自校の課題を明確にする支援を行いました。そのため、各校の課題解決に向けた取組が充実し、確かな学力の育成につながりました。

小・中学校における学習指導の充実を図るための人的な支援として、教育活動補助員を配置しました。これにより、少人数指導やティームティーチングでの授業、きめ細かな学習指導が展開されました。さらに、小学校5校にスクール・サポート・スタッフを配置し、教員が教育活動に専念できる環境を整備したことにより、配置した5校で時間外在校等時間が減少しました。

小学校への外国語活動指導助手(AFT)及び中学校への外国語指導助手(ALT)の配置により、英語教育の充実を図りました。また、障がい児介助員を適切に配置し、支援を必要とする児童生徒一人一人にきめ細かな支援を行いました。

その他にも、「加須市防災ノート」を活用した防災学習の充実など、こどもたちの自ら学ぶ力を育むための多様な学びを実現する資料の作成や環境整備を行いました。

市立幼稚園では、幼児の生活の場の広がりやその関わり合いによって豊かな体験が得られる機会となるよう、保育所と幼稚園の交流や小学校教育への円滑な接続のための小学校との交流を行いました。また、教育・保育の質の向上のため、職員研修の機会を確保しました。

市立幼稚園では、個に応じた環境づくりを工夫し、小学校以降の学習の基盤を培うため、幼児の主体的な遊びを十分に確保しました。また、保育時間の延長が必要な幼児に対して預かり保育を実施し、幼児たちが家庭的な雰囲気の中で楽しく過ごせる場を提供しました。

基本目標2：豊かな心を育む取組を推進します

各小・中学校において、いじめや不登校の未然防止のため、校内での指導・支援体制を充実させるとともに、家庭への啓発及び地域との連携を深めるために、加須市立教育センターを核とした支援を推進しました。教育センターには、相談員やスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを配置するとともに、不登校児童生徒の生活改善を図り、学校復帰を目指すための「加須学びサポート『ピア』」を運営し、一人一人のニーズに応えるための環境づくりを行いました。また、引きこもりがちな不登校児童生徒へ教育センターからのオンラインによる学習支援として「加須学びリンク『ピア』」を運営しました。さらに、不登校傾向の児童生徒の交流の場、居場所づくりを目的とした「加須ステップ『ピア』」を運営しました。

人権教育の充実のために、「学校人権教育計画訪問」の実施による教職員の人権感覚の向上、「加須市初任者人権研修」及び「加須市立教育センター人権研修(オンライン)」による若手教職員の研修の充実、「学校人権教育指導資料50集の発刊」による授業実践の共有を図りました。各教員が日常の教育活動に活かし、児童生徒の豊かな心の育成につなげました。

基本目標3：安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

学校給食については、地場産野菜を積極的に活用しながら、栄養バランスに配慮した安全安心な給食をこどもたちに提供しました。

なお、事故等による給食停止は発生せず、すべての学校給食提供日に給食が提供できました。

また、電力・ガス・食料品等価格の物価高騰の影響を大きく受けている子育て世帯に対し、市立小・中学校に通う児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、学校給食費を5箇月間、一時的に免除するとともに、本年度からの取組として、免除期間中に市立学校給食センターから提供される給食を喫食しなかった児童生徒の保護者を支援するため、「ちょこっとおたすけ絆サポート券」(児童生徒一人につき1万円分)を配布しました。

さらに、コロナ禍等における物価高騰により、学校給食の食材価格への影響が出ている中、保護者の経済的負担を増やすことなく、引き続き、質や量を確保した学校給食が提供できるよう賄材料費の高騰分を支援しました。

給食費については、滞納している家庭に、早期納付の働きかけを行った結果、現年度分の徴収率は99.93%となりました。

学校給食センターの老朽化や運営状況、児童生徒数の推移等を考慮し、令和5年8月末をもって北川辺学校給食センターを廃止し、令和5年9月(2学期)から加須学校給食センターと騎西学校給食センターの2センター体制に再編しました。また、センター再編と併せて、幼稚園給食の内容と給食費を統一しました。

児童生徒の食に対する理解を深め、健やかな体の育成を図るため、栄養教諭を学校に派遣して食育に係る授業を実施しました。学校保健安全法に基づく児童生徒の健康診断(内科検診、歯科健診、尿検査、心電図検査、脊柱側彎症検査、結核検診精密検

査)等について、計画的に実施しました。教職員については、健康診断、胃がん・大腸がん検診を実施したことに加え、ストレスチェックにより、心身の健康状態についての管理を行いました。

基本目標4：質の高い教育のための環境づくりを推進します

元和小学校の児童数増加に伴う教室不足及び放課後児童健全育成室の利用児童数増加に対応するため、校舎の増築工事に着手しました。また、学校等の適切な運営を支援するため、市立の幼稚園及び小・中学校において適正な維持管理や必要な修繕を実施するとともに、市立幼稚園の非構造部材の耐震化に向けた実施計画の見直しを行いました。さらに、安全で安心な教育環境を整備するため、近隣自治体で発生した外壁落下事故を受けて実施した公共施設の緊急安全点検の結果を踏まえ、こどもたちの安全確保のために必要な対策工事等を行いました。

市立幼稚園では、地域の幼児教育の拠点として、良質な教育の提供の維持・向上を図るため、令和5年9月に「加須市立幼稚園再編計画」を策定しました。

小・中学校では、児童生徒数の推移に注視しながら、今後求められる児童生徒のための学校という視点から思案している中、市民の方から今後の小中学校のあり方について検討したほうがよいのではないかとの声が聞かれるようになったことも含めて、幅広く意見を聞く第一歩として、教育委員と学校関係者である学校評議員の意見交換会を令和5年12月から令和6年2月にかけて開催するなど、市立小・中学校の適正規模・適正配置の検討を教育委員会事務局で行いました。

また、学校ICT環境を適正に維持管理し、児童生徒1人1台端末を学習活動で有効活用するため、ICT支援員を配置しました。なお、ICT活用推進校(8校)による研究から見えてきた課題等を集約し、今後の改善に向けた検討を行いました。

基本目標5：家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

家族・地域の絆づくりを一層推進するための「あいさつ運動」に、各校(園)が取り組みました。また、加須市民平和祭及び加須市民まつりにおいて、青少年市民会議の皆様にご協力をいただき、あいさつ運動キャンペーンを行いました。

「家庭の教育力」の向上を図るため、家庭教育学級・子育て学級などを開催し、家庭教育支援の充実を図りました。

全幼稚園及び全小・中学校に、「ふれあい推進長(学校応援コーディネーター)」を委嘱し、ボランティアからなる「幼稚園応援団・学校応援団」を組織しました。令和5年度は、合計で2,917名の応援団の方に協力をいただきました。

保・幼・小中一貫での活動の充実を図り、こどもたちに豊かな人間性や社会性を育むための教育を推進しました。中学校区リンクミーティングを活用し、各園・校が積極的な連携を図れるよう協議しました。

基本目標6：生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

加須市生涯学習市民企画委員や生涯学習推進員と連携し、生涯学習セミナーや市民学習カレッジの企画・募集を行い、企画した71セミナーのうち65セミナーを実施

しました。また、その学習成果を発表・展示する、かぞ生涯学習フェスティバル、地域文化祭・地区文化祭及び市民音楽祭を開催し、芸術文化の交流活動の充実を図りました。さらに、平成国際大学と連携して開校する加須市シニアいきいき大学は、人文科学部・人間文化コース（１年生）、社会科学部・現代社会コース（２年生）とも全１０回の講義を行うことで、シニア層市民に学習活動の場を提供しました。

また、加須市の偉人７人の等身大パネルを作製し、そのお披露目会を開催したのち、市内小学校２校での巡回展示を行い、市民が郷土の偉人への愛着や誇りを有することに取り組みました。

文化・学習センターでは、コンサートや映画上映会等の自主事業等を実施するほか、貸館業務を行い、芸術文化の振興を図りました。

人権教育では、人権問題指導者研修会や人権問題講演会、人権啓発展を開催するなど、家庭、地域社会における人権教育を推進しました。

図書館では、誰もが親しみやすい図書館を目指し、親子講座、ボランティア養成講座、図書館まつり、定例おはなし会、工夫を凝らした各種展示の他、図書館見学の受入れや出張図書館見学を実施しました。

また、市民のニーズに応え、一般書や児童書の購入、郷土資料の受入を実施して蔵書の充実を図りました。

さらに、図書館で所蔵している本の中からおすすめの本をまとめたブックリストを配布し、子育て配信メールを活用して子育てに役立つ本の情報提供を行うなど、こどもが本にふれあう機会を設けるとともに、乳児から一般の方を対象にした借りた本を記録できる読書ノートを配布して、幅広い年代に向けた読書活動の推進を図りました。

基本目標７：スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくれます

市民の心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感、自律心その他の精神を育むため、ウォーキングをはじめとする健康スポーツやボッチャなどのニュースポーツを含むスポーツ教室を開催し、スポーツ・レクリエーションの機会や場の充実を図りました。

各地区スポーツ協会や加須市スポーツ推進委員が主催、主管するウォーキング大会には、昨年度を大きく上回る１，８３０人が参加し、市民の健康増進に寄与しました。

また、スポーツ・レクリエーションへの関心を高め、全ての市民がスポーツ・レクリエーションに参加できるよう、スポーツ協会やスポーツ少年団、レクリエーション協会などと連携し、市内外から多くの方が参加する加須こいのぼりマラソン大会や加須ふじの里駅伝大会をはじめ、クライミングや女子野球などの全国規模の大会を開催しました。

(3) 各事業の達成度評価

基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

施策1 幼児教育の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
1	こども保育課		1・目標を達成	指標(単位)	預かり保育受入率 (%)							・引き続き、必要に応じて預かり保育を実施し、子育て支援につなげる。 ・令和6年度は、利用希望者が一人でもいれば開設する。
	総振CD	2131-16		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0101-02		目標		100	100	100	100	100		
	幼稚園預かり保育事業			実績	100	100	100	100				
				・保護者の就労等により利用希望のあった11園で、希望者全員(延べ7, 345人)の預かり保育を実施し、子育て支援を行ったため、「目標を達成」と評価した。								
	予算額	8,787千円										
	決算額	7,422千円										
	執行率	84%										

施策2 一人ひとりを伸ばす教育の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
2	学校教育課	2・概ね達成	指標(単位)	教育活動補助員の配置状況 (%)							・小学校で31人以上となる学級のある学年、中学校第2学年及び第3学年で39人以上の学年に非常勤講師（教育活動補助員）を配置する。 ・教育活動補助員配置校に指導主事が訪問し、適切な運用がなされるための確認・指導を行う。 ・学級担任とのチームティーチングや少人数指導により、個に応じた学習指導や生活指導を実施し、学力向上を図る。 ・児童生徒と関わる時間の増加による個別学習の推進、心の安定を図り、生徒指導を推進する。
	総振CD		2211-05	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0102-01	目標		100	100	100	100	100	
	少人数学級推進事業		実績	100	100	92	92				
	・小学校第6学年、中学校第2学年及び第3学年において、1学級内の人数が多い学級（小学校3～6年：36人以上、中学校2～3年：39人以上）に教育活動補助員を配置することができた。（13人配置が必要のところ、12人を配置）教育活動補助員配置校に指導主事が訪問し、適切な運用がなされているかを確認した。教育活動補助員を配置し、チームティーチングや少人数指導を行うことにより、個に応じた学習指導や生活指導の充実を図ることができたため、「概ね達成」と評価した。										
	予算額		16,406千円								
	決算額		12,802千円								
	執行率	78%									
3	学校教育課	3・やや遅れている	指標(単位)	埼玉県学力・学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合（児童） (%)							・CBTによるチャレンジテスト等を実施し、児童の学力向上を図る。 ・各校において学力分析シートを作成し、自校の課題解決に向けた取組に努める。
	総振CD		2211-11	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0102-02	目標		101	101	101	101	101	
	学力アップ事業		実績	－	98	97	95				
	・各校へのチャレンジシートの配布や加須市チャレンジテストの実施、小規模校に対する人的支援など、一人一人の児童生徒に対してきめ細かな学習指導を展開し、学力の向上に努めたものの、市平均正答率が県平均正答率を下回った。										
		3・やや遅れている	指標(単位)	埼玉県学力・学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合（生徒） (%)							・CBTによる加須市チャレンジテストや「加須まなびTime」等を実施し、生徒の学力向上を図る。 ・各校において学力分析シートを作成し、自校の課題解決に向けた取組に努める。 ・まなびtimeを充実させることで、学習機会の確保に努める。
	総振CD		2211-11	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0102-02	目標		101	101	101	101	101	
	学力アップ事業		実績	－	96	95	92				
	・各校へのチャレンジシートの配布や加須市チャレンジテストの実施、小規模校に対する人的支援など、一人一人の児童生徒に対してきめ細かな学習指導を展開し、学力の向上に努めたものの、市平均正答率が県平均正答率を下回った。										
		予算額	3,860千円								
		決算額	2,600千円								
		執行率	67%								

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
4	学校教育課	2・概ね達成	指標(単位)	小学校外国語活動の目標をおおむね達成した5、6年生児童の割合（令和2年度：小学校外国語科の目標を十分達成した5、6年生の児童の割合）（％）							・3、4年生の外国語活動においては、授業者と外国語活動指導助手とのチームティーチングを計画的に実施し、年間授業時数35時間を確保する。 ・5、6年生の外国語科においては、担任と外国語活動指導助手とのチームティーチングを計画的に実施し、年間授業時数70時間を確保する。 ・英語教育研究員が小学校を学期に1度訪問し、担任や外国語活動指導助手への授業支援や指導を行う。 ・小学校の教員が中学校英語の授業を参観する研修会への参加を積極的に促し、指導力の向上や小・中学校の一層の連携を図る。 ・外国語に興味関心が高い児童をさらに伸ばすため、イングリッシュサマーキャンプを実施する。	
	総振CD		2211-12	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD		0102-03	目標								60
	小学校英語教育推進事業		実績	44	45	59	57					
	予算額	18,325千円	・授業者と外国語活動指導助手とのチームティーチングの充実により、外国語科の目標をおおむね達成している児童の割合が、目標値にほぼ達しているため、「概ね達成」と評価した。									
	決算額	17,765千円										
	執行率	97%										
	2・概ね達成	指標(単位)	外国語活動が楽しいと感じている児童の割合（平成28年度～令和元年度は5、6年生、令和2年度以降は3、4年生）（％）									
総振CD	2211-13	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)				
プランCD	0102-04	目標							100			
中学校英語教育推進事業	実績	92	91	98	92							
予算額	28,135千円	・授業者と外国語活動指導助手とのチームティーチングの充実により、外国語活動が楽しいと感じている児童の割合が、目標値にほぼ達しているため、「概ね達成」と評価した。										
決算額	28,131千円											
執行率	100%											
5	学校教育課	3・やや遅れている	指標(単位)	英語検定3級程度の英語力を有する中3生徒の割合（％）							・英語教育研究員が全ての市立中学校を学期に2度訪問し、英語教員と外国語指導助手の授業支援や指導を行って授業力の向上を図る。 ・英語教員の授業力向上のための研修会、小学校と中学校の連携を図るための研修会の一層の充実を図る。 ・授業力向上のために、外国語指導助手の研修会を月2回程度行う。 ・英語に興味関心が高い生徒をさらに伸ばすため、イングリッシュサマーキャンプを実施する。	
	総振CD		2211-13	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD		0102-04	目標								50
	中学校英語教育推進事業		実績	42	33	40	32					
	予算額	28,135千円	・学期に1回行っている英語教育研究員の訪問により、英語教員と外国語指導助手への授業支援を行ったが目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。									
	決算額	28,131千円	・外国語指導助手の研修会を通して、担当教員との連携が円滑になった。									
	執行率	100%										
	2・概ね達成	指標(単位)	未来館学習による理科に関する興味・関心をもちた児童の割合（％）									
総振CD	2211-20	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)				
プランCD	0102-05	目標							95			
サイエンススクール事業	実績	－	0	69	91							
予算額	1,065千円	・市内全22の小学校において、加須未来館を活用したサイエンススクールを行った。プラネタリウムの鑑賞や、未来館職員による天体の学習は、小学校4年生の児童にとって理科の学習に興味をもつよいきっかけとなったため、「概ね達成」と評価した。										
決算額	1,065千円											
執行率	100%											
6	教育総務課	2・概ね達成	指標(単位)	小学校理科備品の整備率（％）							・理科実験備品を適切に整備するとともに適正な廃棄に努め、整備率の向上を図る。 ・学校間で整備率に差が生じていることから、今後も引き続き、整備率の低い学校に重点を置きながら、国庫補助金を活用して、加須市全体の理科備品の整備率の向上を図る。	
	総振CD		2211-30	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD		0102-06	目標								78.6
	小学校教材用備品整備事業		実績	76.9	76.6	75.8	74.6					
	予算額	2,802千円	・小学校各校が使用の可否を精査して備品を整理、廃棄したことで購入額が廃棄額を下回り、令和4年度から下降した。整備率としては目標値を下回ったものの、概ね目標値に近い水準であることから、「概ね達成」と評価した。									
	決算額	2,746千円	・整備率の低い騎西及び北川辺地域に重点を置きながら、各小学校に要望どおり備品整備を行った。									
	執行率	98%	・国庫補助金を活用して理科備品の整備を行った。									
	2・概ね達成	指標(単位)	小学校理科備品の整備率（％）									
総振CD	2211-30	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)				
プランCD	0102-06	目標							78.6			
小学校教材用備品整備事業	実績	76.9	76.6	75.8	74.6							
予算額	2,802千円	・小学校各校が使用の可否を精査して備品を整理、廃棄したことで購入額が廃棄額を下回り、令和4年度から下降した。整備率としては目標値を下回ったものの、概ね目標値に近い水準であることから、「概ね達成」と評価した。										
決算額	2,746千円	・整備率の低い騎西及び北川辺地域に重点を置きながら、各小学校に要望どおり備品整備を行った。										
執行率	98%	・国庫補助金を活用して理科備品の整備を行った。										

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
8	教育総務課		2・概ね達成	指標(単位)	中学校理科備品の整備率 (%)							・理科実験備品を適切に整備するとともに適正な廃棄に努め、整備率の向上を図る。 ・学校間で整備率に差が生じていることから、今後も引き続き、整備率の低い学校に重点を置きながら、国庫補助金を活用して、加須市全体の理科備品の整備率の向上を図る。	
	総振CD	2211-31		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)			
	プランCD	0102-07		目標		83.9	84.2	84.5	84.8	85.1			
	中学校教材用備品整備事業			実績	80.5	83.4	82.8	81.6					
	・中学校各校が使用の可否を精査して備品を整理、廃棄したことで購入額が廃棄額を下回り、令和4年度から下降した。整備率は目標値を下回ったものの、概ね目標値に近い水準であることから、「概ね達成」と評価した。 ・整備率の低い騎西及び北川辺地域に重点を置きながら、各中学校に要望どおり備品整備を行った。 ・国庫補助金を活用して理科備品の整備を行った。												
	予算額	1,609千円											
	決算額	1,545千円											
	執行率	96%											
9	教育総務課		3・やや遅れている	指標(単位)	生徒派遣費補助金の交付件数 (件)							・各種スポーツ及び文化活動の振興を図り、交付件数の増加に努める。 ・今後も引き続き、市内中学校に制度の周知を行い、補助金の活用を促すとともに、大会参加に伴う自己負担が生じないよう適正な補助金の交付を行う。	
	総振CD	2211-32		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)			
	プランCD	0102-08		目標		12	12	12	12	12			
	生徒派遣援助事業			実績	0	9	8	8					
	・各学校へ制度について周知し、関東大会、全国大会に出場した8件（15人）に対し、自己負担が生じないよう派遣費を補助した。交付件数が目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。												
	予算額	800千円											
	決算額	712千円											
	執行率	89%											

施策3 教職員の資質能力の向上

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
10	学校教育課	3・ やや遅 れてい る	指標(単位)	埼玉県学力・学習状況調査の県平均正答率に対 する市平均正答率の割合（児童生徒）（%）							・学校訪問の際に、調査の分析結 果に触れながら、授業改善に関す る具体的な指導を行う。 ・特に学力を伸ばしている学校の 取組を市内で共有し、指導力の向 上に繋げる。
	総振 CD		2211-08	年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)	
	プラン CD		0103-01	目標		101	101	101	101	101	
	学校訪問指導事業		実績	－	97	96	93				
	・各校へのチャレンジシートの配布や加須市チャレンジテストの実 施、小規模校に対する人的支援など、一人一人の児童生徒に対して きめ細かな学習指導を展開し、学力の向上に努めたものの、市平均 正答率が県平均正答率を下回った。										
		1・ 目標を達 成	指標(単位)	学校訪問回数（回）							・各幼稚園及び小・中学校の二 ーズに応じ、指導主事及び指導委員 の派遣を適切に行い、きめ細かい 指導につなげる。 ・指導内容については、教員の 「授業改善」「学級経営の充実」 や幼児、児童生徒の「学習意欲の 向上」に向けた指導を意図的に実 施する。
	年度		2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)			
	目標			215	200	200	200	200			
	実績		164	125	193	232					
	・計画どおりに実施でき、事業の推進を通して、児童生徒の学習習 慣の確立が図られている。目標値に達しているため、「目標を達 成」と評価した。 ・教職員への指導・助言を通して、学校の教育力向上につながっ た。										
	予算額	51千円									
	決算額	25千円									
	執行率	49%									

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
11	学校教育課	3・ やや遅 れている	指標(単位)	埼玉県学力・学習状況調査の県平均正答率に 対する市平均正答率の割合（児童生徒）（％）							・C B Tによる加須市チャレンジ テスト等を実施し、児童の学力向 上を図る。 ・各校において学力分析シートを 作成し、自校の課題解決に向けた 取組に努める。 ・特に学力を伸ばしている学校の 取組を市内で共有し、指導力の向 上に繋げる。	
	総振 CD		2211-07	年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)		
	プラン CD		0103-02	目標		101	101	101	101	101		
	学習指導改善研究事業		実績	－	97	96	93					
			・各校へのチャレンジシートの配布や加須市チャレンジテストの実 施、小規模校に対する人的支援など、一人一人の児童生徒に対して きめ細かな学習指導を展開し、学力の向上に努めたものの、市平均 正答率が県平均正答率を下回った。									
	予算額	5,209千円	2・ 概ね達 成	指標(単位)	体力テストの5段階絶対評価で上位3ランク (A+B+C)の児童生徒の割合（％）							・体力向上推進委員会を開催し、 体育授業の充実にも努めるととも に、家庭との連携を図り、児童生 徒が体を動かす機会を作ること を促す。
	決算額	4,537千円		年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)		
	執行率	87%		目標		82	82	82	82	82		
				実績	－	82	80	78				
				・コロナ禍や学校の働き方改革等により、運動機会が減少したこと で、体力テストの結果は目標値には至らなかったものの、目標値に ほぼ達しているため「概ね達成」と評価した。								
12	学校教育課	1・ 目標を達 成	指標(単位)	学級増、教員増の学校へ教師用教科書及び指導 書を配布した割合（％）							・令和6年度は改訂となった小学 校用教科用図書について、全ての 小学校に教師用教科書及び指導書 を配布した上で、適切に学級の増 設や教員の増員が必要となる教師 用教科書及び指導書の措置を行 う。	
	総振 CD		2211-15	年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)		
	プラン CD		0103-03	目標		100	100	100	100	100		
	教師用教科書・指導書 措置事業		実績	100	100	100	100					
			・学級の増設や教員の増員で必要となった教師用教科書及び指導書 を措置することができた。学級増・教員増を可能な限り正確に予 測して予算を要求するとともに、学校と連絡を密にすることで適切 に処理することができた。									
	予算額		2,286千円									
決算額	2,285千円											
執行率	100%											
13	学校教育課	2・ 概ね達 成	指標(単位)	加須市に対する理解が深まった児童の割合（％）							・令和7年度の改訂に向け、令和 6年度では改訂の方針を決定す る。令和7年度の改訂で、児童が 思考力、判断力、表現力をより身 につけられるよう、課題解決型の 学習に適した改訂になるように準 備する。	
	総振 CD		2211-16	年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)		
	プラン CD		0103-04	目標		80	80	80	80	80		
	社会科副読本資料作成 事業		実績	73	68	69	69					
			・児童の評価テストの点数を基に算出した、加須市に対する理解が 深まった児童の割合が目標値に近づいているため、「概ね達成」と 評価した。評価テストには、加須市に対する知識だけでなく、グラ フ等を正しく読み取る技能や、適切に考察し、その結果を表すため の思考力、判断力、表現力が身につけているかを問う問題もあるた め、目標を達成するには全体的な学力の向上が必要である。									
	予算額		24千円									
	決算額		0千円									
	執行率		0%									

施策4 ICTを活用した教育の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
14	学校教育課	2・概ね達成	指標(単位)	ICTを活用して効果的な指導ができる教員の割合 (%)							・引き続き、ICTを活用した効果的な指導方法を教員に周知する。また、様々な指導方法を紹介することで、効果的な指導ができると感じる教員を増やしていく活動を続けていく。 ・教職員が自信をもって学習指導に端末を活用できるよう、教職員の端末活用に対するスキルを高めたい。
	総振CD		2211-09	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0104-01	目標		95	95	100	100	100	
	学校ICT教育活用事業		実績		84	81	82				
			・継続的に研修を重ね、数値が目標値に近づいているため、「概ね達成」と評価した。 ・ミニオンライン研修会「かぞ学びDX」を活用し、若手からベテランまで、様々な教職員が端末を活用した学習指導を行うことができるようにした。								
		1・目標を達成	指標(単位)	ICTを活用して情報活用能力を発揮できる児童生徒の割合（上段：児童の数値 下段：生徒の数値） (%)							・授業での活用事例を多く提供することで、児童生徒が端末を活用する機会を増やすことができた。情報活用能力のさらなる向上を目指し、ICT教育の充実を図る。 ・学習に有効活用できるアプリケーションを研究し、新たに活用できるよう整備する。
	年度		2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)			
	目標			65 70	70 75	75 80	80 85	100 100			
	実績		-	97 94	96 99	99 98					
	予算額		・各小・中学校において、一人一台端末を活用した授業が推進できた。授業で活用する機会が多くなったことから、端末を扱う技能が高い数値を維持できているため、「目標を達成」と評価した。								
			98,385千円								
			58,531千円								
	執行率		59%								

施策5 特別支援教育の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
15	学校教育課	3・やや遅れている	指標(単位)	ことばの教室（構音障害）修了者の割合（％）							・就学時健康診断において、学校における特別支援教育について、保護者に情報提供を行い、特別支援教育に関する理解を深める。 ・すくすく子育て相談室と連携し、就学前のこどもを対象とした市の「ことばの教室」を周知し、より多くの子が入学前に症状を改善できるようにする。 ・言語聴覚士に具体的な指導法等を学ぶ研修会を実施し、ことばの教室担当教員の資質・能力の向上を図る。
	総振CD		2211-14	年度	2年度	3年度	4年度	5年度（決算）	6年度	7年度（目標年）	
	プランCD		0105-01	目標		95	95	95	95	95	
	特別支援教育推進事業		実績	62	53	57	62				
			・構音障害の令和5年度当初開始児童数が73名、正しく発音できるようになり修了した児童が45名であったため、「やや遅れている」と評価した。 ・障害の程度には個人差があり、指導に時間を要することもあるため、年度内に指導を終了することができない児童がいた。 ・5年度当初開始児童数 73名（構音障害） 14名（吃音）7名（難聴）								
	予算額		81,449千円								
	決算額		75,057千円								
	執行率	92％									
16	学校教育課	1・目標を達成	指標(単位)	就学奨励費の支給率（％）							・特別支援学級に在籍する児童の保護者に対して、制度の周知を徹底する。 ・制度の対象児童については、増加傾向であるため、確実な支給に努める。
	総振CD		2211-25	年度	2年度	3年度	4年度	5年度（決算）	6年度	7年度（目標年）	
	プランCD		0105-02	目標		100	100	100	100	100	
	小学校特別支援教育就学奨励事業		実績	100	100	100	100				
			・特別支援学級に在籍する児童の保護者に対し、各学校の協力を得ながら制度の周知を行い、目標を達成することができた。 ・保護者及び学校から提出された資料に基づき、就学奨励費を計算し支給することで、学校生活に係る経費について保護者の経済的負担の軽減を図った。								
	予算額		5,162千円								
	決算額		3,879千円								
	執行率	75％									

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
17	学校教育課	1・ 目標を達成	指標(単位)	就学奨励費の支給率 (%)							・特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対して、制度の周知を徹底する。 ・制度の対象生徒については、増加傾向であるため、確実な支給に努める。
	総振CD		2211-26	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0105-03	目標		100	100	100	100	100	
	中学校特別支援教育就学奨励事業		実績	100	100	100	100				
			・特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対し、各学校の協力を得ながら制度の周知を行い、目標を達成することができた。 ・保護者及び学校から提出された資料に基づき、就学奨励費を計算し支給することで、学校生活に係る経費について保護者の経済的負担の軽減を図った。								
	予算額		5,029千円								
	決算額		2,747千円								
	執行率	55%									

施策6 学びを支える経済支援

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
18	学校教育課		1・目標を達成	指標(単位)	就学援助費の支給率 (%)							・引き続き、制度の周知を徹底しながら、迅速で正確な事務処理に努めていく。 ・令和5年度より支給費目にオンライン学習通信費を追加した。
	総振CD	2211-21		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0106-01		目標			100	100	100	100	100	
	小学校就学援助事業			実績	100	100	100	100				
	・全校児童の案内チラシの配布、当該年度の受給者への個別の案内通知等、制度の周知を図ることにより、援助を必要とする保護者への支援ができ、目標を達成することができた。											
	予算額	34,408千円										
	決算額	30,369千円										
	執行率	88%										
19	学校教育課		1・目標を達成	指標(単位)	就学援助費の支給率 (%)							・引き続き、制度の周知を徹底しながら、迅速で正確な事務処理に努めていく。 ・令和5年度より支給費目にオンライン学習通信費を追加した。
	総振CD	2211-23		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0106-02		目標			100	100	100	100	100	
	中学校就学援助事業			実績	100	100	100	100				
	・全校生徒への案内チラシの配布、当該年度の受給者への個別の案内通知等、制度の周知を図ることにより、援助を必要とする保護者への支援ができ、目標を達成することができた。											
	予算額	40,761千円										
	決算額	35,086千円										
	執行率	86%										
20	学校教育課		1・目標を達成	指標(単位)	新規に採用する奨学生の人数 (人)							・学力が優秀でありながら経済的理由で就学が困難な生徒に、適正に奨学金を給与する。当事業を3年生だけでなく、1、2年生の家庭にも広め、奨学金を必要としている家庭に給与できるように努める。
	総振CD	2211-27		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0106-03		目標			10	15	15	15	15	
	河野博士育英事業			実績	9	11	15	15				
	・選考委員会における協議の結果、奨学生を15名選考することができ、目標を達成することができた。中学3年生の生徒や保護者に学校を通じて周知をしたほか、広報かぞやホームページにおいても広報活動をした結果、認知度が高まり、15名以上の応募が集まった。											
	予算額	5,273千円										
	決算額	5,101千円										
	執行率	97%										

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
21	学校教育課	1・目標を達成	指標(単位)	就学援助費の支給率 (%)							・引き続き、学校と連携をとりながら、援助を必要とする家庭への支援を実施していく。
	総振CD		2211-24	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0106-04	目標		100	100	100	100	100	
	避難者支援就学援助事業		実績	100	100	100	100				
	・制度の周知を図ることにより、援助を必要とする保護者への支援ができ、目標を達成することができた。 ・対象者の減少により執行率が低くなった。										
	予算額		811千円								
	決算額		95千円								
	執行率	12%									

施策7 自立する力の育成

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
22	学校教育課		1・ 目標を達成	指標(単位)	市内各幼稚園及び小・中学校における「加須市防災教育指導資料」の活用率 (%)							・各校において、加須市防災教育指導資料や防災ノートの活用が図られた。 ・今後は、加須市防災教育指導資料や防災ノートを活用した授業実践等を共有し、さらなる活用及び防災教育の充実を図る。
	総振CD	2211-17		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0107-04		目標								
	防災教育推進事業			実績	100	100	100	100				
				・全ての小中学校で「加須市防災教育指導資料」を活用することができているため、「目標を達成」と評価した。避難訓練の実施依頼とともに加須市防災教育指導資料や防災ノートの活用方法を示すことで、確実な実践に結びつけることができた。								
	予算額	1,501千円										
	決算額	1,084千円										
	執行率	72%										
23	学校教育課		2・ 概ね達成	指標(単位)	環境に興味・関心をもっている児童生徒の割合 (%)							・引き続き、各校(園)の実態に応じて、ゴーヤ、アサガオ、ヒョウタン等の栽培によるグリーンカーテンの設置、学校ファームにおける活動を推進する。
	総振CD	2211-22		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0107-10		目標								
	学校グリーンカーテン事業			実績	—	—	—	—				
				・市内幼稚園、小中学校併せて42校(園)の全てで、学校ファームでの栽培を実施できた。また、小中学校は22校、幼稚園は11園でグリーンカーテンに取り組むことができたため、「概ね達成」と評価した。								
	予算額	0千円										
	決算額	0千円										
	執行率	—										
24	学校教育課		2・ 概ね達成	指標(単位)	ふれあい講演会を実施した中学校の割合 (%)							・市立中学校でのふれあい講演会の実施のための支援を行う。加須市観光大使を紹介するなど、地域に根ざした持続可能な事業を目指す。また、謝礼の増額を検討する。 ・ふれあい講演会は、平成28年度以降、市費により同額の支援を行っている。講演会は、生徒一人一人の将来の夢や希望について考えることのできるよいキャリア形成の機会となっていることや、児童生徒の学力向上との関連から、今後も支援を継続する。
	総振CD	2211-18		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0107-15		目標								
	中学生夢創造チャレンジ事業			実績	38	50	50	75				
				・「ふれあい講演会」と職場体験学習によってキャリア形成に資する事業である。「ふれあい講演会」は、実施の可否の判断を含め、各学校の実情に合わせた実施とし、6校が実施した。実施していない学校のうち、県の事業を活用して講演会を実施する学校もあった。自由に講師を選べる事業であるが、講師の確保を学校が行わなくてはならず、負担となっている可能性もある。								
	予算額	419千円										
	決算額	347千円										
	執行率	83%										

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
25	学校教育課		3・ やや遅 れている	指標(単位)	市職員の派遣を要請した回数 (回)							・各学校に本事業の活動事例を周知し、より効果的な人材活用を図るとともに、他課と十分な連携を図る。
	総振CD	2211-19		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0107-16		目標		10	10	10	10	10		
	市職員マンパワー活用事業			実績	2	3	3	5				
				・水害講話や、職業学習の講話など、学校のニーズに応じて対応したが、目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。								
	予算額	0千円										
	決算額	0千円										
	執行率	—										

基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します

施策1 いじめ対策の充実

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
26	学校教育課	4・大幅に遅れている	指標(単位)	不登校児童の割合（小学校）（％）							・不登校問題対策委員会の実施及び指導主事学校訪問により学校との連携を図る。 ・埼玉県教育委員会が発行した『一人一人の社会的自立に向けた児童生徒支援ガイドブック』を周知し、各校に積極的な活用を求める。 ・新たな不登校児童生徒をつくらない観点から、各校において不登校予防のための策を改めて見直させ、実践させる。 ・加須市立教育センターに通級する児童生徒の学習を支援する加須学びサポート「ピア」、オンラインで児童生徒の学習を支援する加須学びリンク「ピア」、児童生徒の交流や居場所づくりを目的とした加須ステップ「ピア」といった多様な学びの場の整備と周知、活用を図る。 ・不登校を考える保護者の会「ハート・ピア」を開催し、不登校の児童生徒をもつ保護者を支援する。 ・いじめ対策連絡協議会を実施することによる支援体制を構築する。 ・いじめの重大事態の調査に関するガイドラインの改訂に伴う校長・園長研究協議会における学校への情報提供と各校での初期対応の重要性を指示する。 ・第2回、第3回いじめ撲滅期間の取組を実施する。
	総振CD 2212-01		年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)		
	プランCD 0201-01		目標		0	0	0	0	0		
	いじめ・不登校対策事業		実績	0.43	0.53	0.78	1.08				
			・不登校問題対策委員会において講演や事例研究等を行い、各校で不登校対策を進めたものの、埼玉県全体の傾向と同様に、不登校児童生徒数が過去最多となった。 ・令和5年度末の調査から不登校児童の理由で最も多かった事由は『無気力』次いで『親子関係に起因するもの』であった。 ・学校や学級に更に魅力を持たせることが重要であると考えられる。 ・不登校生徒の増加に伴い、評価を「大幅に遅れている」とした。								
		4・大幅に遅れている	指標(単位)	不登校生徒の割合（中学校）（％）							
			年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)		
			目標		0	0	0	0	0		
			実績	3.66	3.93	5.90	7.48				
			・不登校問題対策委員会において講演や事例研究等を行い、各校で不登校対策を進めたものの、埼玉県全体の傾向と同様に、不登校児童生徒数が過去最多となった。 ・令和5年度末の調査から不登校生徒の理由で最も多かった事由は『無気力』次いで『生活習慣の乱れの』であった。 ・魅力ある学校・学級づくりを行うとともに、生活習慣の改善や登校支援などの家庭への協力や必要であると考えられる。 ・不登校生徒の増加に伴い、評価を「大幅に遅れている」とした。								
		予算額	24,576千円								
		決算額	20,363千円								
		執行率	83%								

施策2 不登校対策を中心とした教育相談の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
27	学校教育課		1・目標を達成	指標(単位)	「参加してよかったと感じた研修会」をあげた 教職員数の割合 (%)							・教職員研修の内容を見直す。さらに、不登校の解消を目指し、生徒指導・教育相談、特別支援教育に関する新たな研修会を実施する。また、オンラインを活用した研修の充実を図り、教職員の負担軽減を図る。
	総振 CD	2212-02		年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)		
	プラン CD	0202-01		目標		100	100	100	100	100		
	教育センター運営事業			実績	－	100	91	100				
				・研修会について、すべての参加者が「参加してよかった」、「ややよかった」と回答したため、「目標を達成」と評価した。								
	予算額	17,643千円										
	決算額	16,913千円										
	執行率	96%										

施策3 学校等における人権教育の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
28	生涯学習課		4・大幅に遅れている	指標(単位)	集会所年間利用者数 (人)							・成人学級の開催等、集会所を積極的に活用していく。 ・来館者が安心して利用できるよう施設の修繕を行うなど管理運営をしていく。
	総振CD	2513-03		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0203-01		目標		12,100	12,100	12,100	12,100	12,100		
	集会所管理運営事業			実績	2,371	2,758	3,833	4,724				
				・講座の規模縮小により、参加人数を制限して実施したことから、大幅な利用増とはならず、目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。 ・コロナ感染症の減少状況や安全対策を進めながら講座を実施したことなどにより、令和4年度よりも参加者数が増加したが、目標値の39%となった。								
	予算額	8,507千円										
	決算額	6,044千円										
	執行率	71%										

基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

施策1 安全・安心な給食の提供

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等			
29	学校給食課		1・ 目標を達成	指標(単位)	学校給食提供日数（率） (%)							・児童生徒園児に安全安心な給食を提供する。 安全で安心な給食の提供のために、施設整備の維持管理及び衛生管理の徹底を図る。	
	総振 CD	2213-01		年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)			
	プラン CD	0301-01		目標		100	100	100	100	100			
	給食センター管理運営事業			実績	100	100	100	100					
	・3センター（令和5年9月から2センター）とも衛生管理を徹底した結果、事故などによる給食停止は発生せず、目標どおり給食を提供することができた。 ・安全安心でおいしい給食を継続的に提供できた。												
	予算額	893,283千円											
	決算額	804,627千円											
	執行率	90%											
30	学校給食課		2・ 概ね達成	指標(単位)	現年度収納率の向上 (%)							・学校や子育て支援課と連携し、声かけや、児童手当からの徴収等を引き続き行っていくとともに、場合によっては、電話や文書による催促等を行いながら完納を目指す。	
	総振 CD	2213-07		年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)			
	プラン CD	0301-02		目標		100	100	100	100	100			
	給食費収納対策事業			実績	99.93	99.98	99.99	99.93					
	・各園・学校を通じて学校給食費を納入してもらっているが、目標値を下回ったことから、「概ね達成」と評価した。 ・未納世帯については、学校で随時声かけ等を行う、また、子育て支援課と連携し、児童手当からの徴収を行うなどの取組をし、少しずつではあるが完納に近づいている。 ・令和5年7月から令和5年12月まで（8月を除く）の5箇月間に限り、学校給食費を一時的に免除した。												
	予算額	0千円											
	決算額	0千円											
	執行率	—											

施策2 食育の推進

施策3 健康の保持増進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
31	学校教育課	2・概ね達成	指標(単位)	児童のう歯治療率 (%)							・児童の口腔衛生を促進するために、養護教諭の取組や治療勧告の状況などを共有できる研修会等を開催していく。
	総振CD		2213-02	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0303-01	目標		96	96	96	96	96	
	小学校健康推進事業		実績	87.8	86	86.6	85.1				
	予算額		30,901千円	・歯みがき指導等により、口腔衛生の必要性・重要性を理解させる健康教育を実施し、健診等で早期発見に努めたため、「概ね達成」と評価した。							
	決算額		28,965千円								
	執行率		94%								
32	学校教育課	2・概ね達成	指標(単位)	生徒のう歯治療率 (%)							・生徒の口腔衛生を促進するために、養護教諭の取組や治療勧告の状況などを共有できる研修会等を開催していく。
	総振CD		2213-03	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0303-02	目標		96	96	96	96	96	
	中学校健康推進事業		実績	95.7	93.1	91.9	93.1				
	予算額		15,118千円	・各学校で、生徒の健康の維持・向上を目指し、歯科指導や学校保健委員会を定期的で開催したため、「概ね達成」と評価した。							
	決算額		14,548千円								
	執行率		96%								

基本目標4 質の高い教育のための環境づくりを推進します

施策1 安全で安心な教育環境の整備

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
33	教育総務課	2・ 概ね 達成	指標(単位)	図書整備率100%達成校数 (校)							・学校図書館の活性化を図りつ つ、計画的な図書購入と適正な廃 棄を行い、整備率100%を目指し ていく。
	総振 CD		2214-01	年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)	
	プラン CD		0401-01	目標		22	22	22	22	22	
	小学校管理運営事業		実績	22	21	20	19				
	・図書整備率は、三俣小学校・高柳小学校に加えて、元和小学校に おいて学級数の増加に伴い分母の図書標準蔵書冊数が増えたことで 100%を下回ることとなった。それ以外の19校は、継続的な図書 購入を行った結果、引き続き100%を達成し、学校図書館の整備充 実を図ることができた。目標値を下回ったものの、概ね目標値に近 い水準であることから、「概ね達成」と評価した。なお、図書購入 費は100%執行した。										
	予算額		330,848千円								
	決算額		294,009千円								
	執行率	89%									
34	教育総務課	2・ 概ね 達成	指標(単位)	図書整備率100%達成校数 (校)							・学校図書館の活性化を図りつ つ、計画的な図書購入と適正な廃 棄を行い、整備率100%を目指し ていく。
	総振 CD		2214-02	年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)	
	プラン CD		0401-02	目標		8	8	8	8	8	
	中学校管理運営事業		実績	7	7	7	7				
	・図書整備率は、加須平成中学校が引き続き100%を下回ること となった。それ以外の7校は、継続的な図書購入を行った結果、引 続き100%を達成し、学校図書館の整備充実を図ることができた。 目標値を下回ったものの、概ね目標値に近い水準であることから、 「概ね達成」と評価した。なお、図書購入費は100%執行した。										
	予算額		188,442千円								
	決算額		161,371千円								
	執行率	86%									
35	こども保育課	1・ 目標 を達成	指標(単位)	保護者・地域への幼稚園教育活動に対するチラシや HP等での周知数 (回)							・幼児が安心安全に過ごせるよ う、保護者・地域の方と連携し、 適正な管理運営を行う。 ・産休代員職員(会計年度任用職 員、幼稚園教諭)確保のため、広 報やHPを活用する。 ・幼稚園教育活動の周知につい ては、各園によって差があるため、 就園率アップに繋がるよう努め る。
	総振 CD		2141-01	年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)	
	プラン CD		0401-03	目標		160	170	180	190	200	
	公立幼稚園管理運営事業		実績		206	180	226				
	・各園の教育方針や幼稚園教育への理解を深めていただく手段とし て、チラシやHPを通して、保護者や地域に周知したため、目標を達 成することができた。										
	予算額		129,384千円								
	決算額		111,469千円								
	執行率	86%									

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
36	学校教育課		2・ 概ね達成	・事業を円滑に進めるにあたり、必要経費を適切に支出する。 ・新型コロナウイルス感染症対策費として補助金を活用した。							・特定教科専門指導非常勤講師と欠員対応非常勤講師の配置に必要な予算などの、適正な管理執行に努める。 ・部活動あり方検討委員会を開催する。	
	総振CD	2214-03										
	プランCD	0401-06										
	学校教育管理事業											
	予算額	19,396千円										
	決算額	11,761千円										
	執行率	61%										
37	教育総務課		2・ 概ね達成	指標(単位)	小学校施設の大規模改造工事実施率 〔大規模改造工事実施済棟数/大規模改造工事が 必要な棟数×100〕 ※築後30年以上の棟数及び改修が必要な棟数の 合計 (%)						・長寿命化計画に基づき、全面的なトイレ改修・トイレ洋式化、校舎の木質化やバリアフリー化などを含めた長寿命化改良工事等を実施する。	
	総振CD	2214-04		年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)		
	プランCD	0401-07		目標	51.2 50.0 54.3 57.4 57.4							
	小学校施設整備事業			実績	51.2	51.2	50.0	50.0				
	・大規模改造工事の実施率は、元和小学校の児童数増加に伴う教室不足を解消する校舎増築工事を緊急に進めたことにより、長寿命化計画に基づく礼羽小学校大規模改造工事を先送りしたため、目標を下回ったが大きな遅れがないため、「概ね達成」と評価した。 ・元和小学校校舎増築工事は、令和5年度から令和6年度までの継続費であり、令和5年度予算額のうち前払金及び出来高を除く265,177千円を逐次繰越した。また、令和5年12月議会及び令和6年3月議会において補正予算を計上した工事費及び備品購入費119,657千円を令和6年度へ繰り越した。											
	予算額	720,458千円										
	決算額	351,974千円										
		執行率		49%								
38	教育総務課		1・ 目標を達成	指標(単位)	中学校施設の大規模改造工事実施率 〔大規模改造工事実施済棟数/大規模改造工事が 必要な棟数×100〕 ※築後30年以上の棟数及び改修が必要な棟数の 合計 (%)						・長寿命化計画に基づき、全面的なトイレ改修・トイレ洋式化、校舎の木質化やバリアフリー化などを含めた長寿命化改良工事等を実施する。	
	総振CD	2214-05		年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)		
	プランCD	0401-08		目標	58.8 52.6 52.6 47.6 54.5							
	中学校施設整備事業			実績	58.8	58.8	52.6	52.6				
	・大規模改造工事の実施率については、令和5年度の実績はないものの、長寿命化計画通りであるため、「目標を達成」と評価した。 ・令和5年12月議会において補正予算を計上した工事費及び備品購入費8,150千円を令和6年度へ繰り越した。											
	予算額	24,695千円										
	決算額	5,032千円										
		執行率		20%								

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
39	こども保育課		4・大幅に遅れている	指標(単位)	市立幼稚園の非構造部材の耐震化対策実施率 (累計) (%)							・加須市立幼稚園再編計画に基づき、加須市学校施設長寿命化計画の施設整備の優先順位を見直し、計画的に整備を進める。
	総振CD	2142-01		年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)		
	プランCD	0401-09		目標		0	23.1	46.2	69.2	100.0		
	公立幼稚園施設整備事業			実績		0	0	0				
				・市立幼稚園において、園児数の減少により休室・休園があいつぎ、整備計画の見直しが必要になったため、「大幅に遅れている」と評価した。 ・加須市立幼稚園再編計画の策定後、非構造部材の耐震化の実施計画の見直しを行った。								
	予算額	0千円										
	決算額	0千円										
	執行率	—										

施策2 学校ICT環境の適正な管理

施策3 市立学校の適正な配置

基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

施策1 学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
40	学校教育課	3・ やや遅 れている	指標(単位)	幼稚園応援団に登録する市民の数 (人)							・実態に合わせ、①保育支援②安心安全の確保③幼稚園の環境整備④幼稚園と家庭・地域との交流活動等を展開していく。
	総振CD		2215-01	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0501-01	目標		220	220	220	220	220	
	学校いきいきステーション事業		実績	250	226	200	156				
			・幼稚園応援団ボランティアの人数は、高齢化に伴い減少傾向にあるものの、目標値の78%となったため「やや遅れている」と評価した。 ・園において、創意工夫を生かした幼稚園応援団の活動を実施した。 ・コロナ禍において、活動の制限が出る場面もあったが、学校行事や日常の登下校の見守りなど、可能な範囲で活動を実施した。 ・幼稚園応援団の高齢化により、登録者が減少している。園ごとに必要な応援団を精査するとともに、新たな応援団の開拓が喫緊の課題である。								
	3・ やや遅 れている	指標(単位)	学校応援団に登録する市民の数 (人)							・実態に合わせ、①学習支援②登下校における安心安全の確保③学校の環境整備④学校と家庭・地域との交流活動等を展開していく。	
		年度	2年度	3年度(決算)	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)			
		目標		4,300	4,300	4,300	4,300	4,300			
		実績	4,167	3,888	3,210	2,761					
		・学校応援団ボランティアの人数は、高齢化に伴い減少傾向にあり、目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 ・学校において、創意工夫を生かした学校応援団の活動を実施した。 ・コロナ禍において、活動の制限が出る場面もあったが、学校行事や日常の登下校の見守りなど、可能な範囲で活動を実施した。 ・学校応援団の高齢化により、登録者が減少している。学校ごとに必要な応援団を精査するとともに、新たな応援団の開拓が喫緊の課題である。									
	予算額	4,172千円									
	決算額	4,110千円									
	執行率	99%									
41	学校教育課	2・ 概ね達 成	指標(単位)	掲示コーナーに掲示したパネル数 (枚)							・今後もパネル公開を計画的に実施し、学校等の情報を広く地域に広報していく。
	総振CD		2215-02	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0501-02	目標		624	624	624	624	624	
	地域密着型教育広報事業		実績	577	548	535	533				
			・各学校(園)の特色ある教育活動を計画的に市民にパネル公開したため、「概ね達成」と評価した。								
	予算額		0千円								
	決算額	0千円									
執行率	—										

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
42	学校教育課	4・大幅に遅れている	指標(単位)	地域の方にあいさつをしている児童生徒の割合 ※「家庭・地域の絆推進運動」アンケート結果より (%)							・あいさつ運動の実施を市ホームページ(トップページ)にて紹介し、地域への認知度を高める。 ・加須市あいさつ運動推進委員会を活性化し、駅前キャンペーン(5、10月)、市民平和祭(5月)、市民祭り(10月)のあいさつ運動では、他課とも連携を図り、市を挙げたあいさつ運動を行う。	
	総振CD		2215-06	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD		0501-03	目標			95	95	95	95		95
	あいさつふれあい推進事業		実績	77	76	-	-					
	・これまでの事業の検証と今後の在り方を見直し、新たな事業展開の手法等を検討するために、本指標の根拠となる「絆アンケート」を令和4年から実施していないため、「大幅に遅れている」と評価した。											
		1・目標を達成	指標(単位)	「加須市あいさつ運動」のPRグッズを常設している学校の割合 (施設)							・今後もPRグッズを活用したあいさつ運動を推進し、自分からあいさつできる児童生徒の育成を図っていく。	
	総振CD		2215-06	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD		0501-03	目標			100	100	100	100		100
	あいさつふれあい推進事業		実績	100	100	100	100					
	・加須市あいさつ運動推進委員会を活性化し、駅前キャンペーン(5、10月)、市民平和祭(5月)、市民祭り(10月)のあいさつ運動では、他課とも連携を図り、市を挙げたあいさつ運動を行うことができた。											
予算額	282千円											
決算額	120千円											
執行率	43%											
43	学校教育課	1・目標を達成	指標(単位)	保育所、幼稚園、小・中学校の交流の延べ回数 (回)							・リンクミーティング(中学校区の合同会議)を通して保・幼・小中一貫教育の充実を図る。 ・保育所・幼稚園から小・中学校への「縦」の連携に加え、同一小学校区内の保育園と幼稚園、同一中学校区内の小学校といった「横」の連携についても併せて取り組む。 ・年度末に保・幼・小中連携協議会を開催し、リンクミーティングの成果及び交流活動の実績を振り返り、次年度に向けて連携を強化させていく。	
	総振CD		2215-03	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD		0501-04	目標			650	650	650	650		650
	保・幼・小中一貫教育事業		実績	275	514	425	664					
	・リンクミーティング、各種の交流活動が積極的に行われ、保育所、幼稚園、小・中学校の交流回数(幼児・児童生徒、教職員)が、目標値を上回った。											
	予算額		1,250千円									
	決算額		788千円									
執行率	63%											
44	生涯学習課	4・大幅に遅れている	指標(単位)	「就学前子育て講座、親の学習講座、家庭教育学級」の延べ参加者数 (人)							・就学前の子をもつ保護者の悩みや不安の解消につなげるため、地域、サークル、コミュニティセンターなどの様々なツールを使って各種講座を実施する。 ・各種講座実施数の向上のため、埼玉県生涯学習推進課や埼玉県東部教育事務所と連携し、埼玉県家庭教育アドバイザーの活用を促進する。 ・今後、目標値の修正を検討する。	
	総振CD		2215-05	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD		0501-06	目標			2,265	2,315	2,365	2,415		2,465
	家庭の学びと地域の絆推進事業		実績	431	453	502	1,041					
	・保護者や子どもたちを対象に、子育て講座、親の学習講座、家庭教育学級を実施したが、参加者数が目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。 ・新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、講座に制限を設けず実施できるようになったため、参加者数が前年度の倍になったことから、今後の参加者数の動向を注視する。 ・少子化の進行に伴い、該当する幼児とその保護者が減少傾向のため目標との乖離が見られる。											
	予算額		115千円									
	決算額		49千円									
執行率	43%											

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等			
45	生涯学習課	4・ 大幅に 遅れて いる	指標(単位)	美術作品展示点数 (点)							・令和6年度は、芸術文化振興事業内で、「こども絵画展」(仮称)として、令和7年3月に、パストラルかそを会場に斎藤与里展と同時開催する予定。 ・周知方法を検討し、幅広い作品を集める。 ・今後、目標値の修正を検討する。		
	総振CD		2312-05	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)			
	プランCD		0501-07	目標		982	984	986	988	990			
	まちかど美術館推進事業		実績	0	0	0	30						
			・市内保育園、幼稚園及び小学校にチラシを配布し、公募をしたが、30点の出品しか集まらなかったため、「大幅に遅れている」と評価した。 ・コロナ禍前は、市内各小学校に美術作品の提供の依頼を行っていたが、令和5年度は作品公募のチラシの配布依頼を行った。このため、展示作品が大幅に減少した。										
	予算額	79千円	4・ 大幅に 遅れて いる	指標(単位)	美術作品展示店舗数等 (店)							・令和6年度は、芸術文化振興事業内で、「こども絵画展」(仮称)として、令和7年3月に、パストラルかそを会場に斎藤与里展と同時開催する予定。 ・実施方法を見直し、目標値の修正を行う。	
		総振CD		2215-16	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度			7年度(目標年)
		プランCD		0501-08	目標		50	50	50	50			50
		かそ子ども大学事業		実績	29	0	27	36					
				・参加者数が目標値の72%にとどまり、80%を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 ・子ども大学かそ実行委員会を3回開催した。また、子ども実行委員会は書面会議で1回開催した。									
予算額	274千円	3・ やや 遅れて いる	指標(単位)	子ども大学かそ参加者数(対象:小学4~6年) (人)							・平成国際大学、加須青年会議所及び加須げんきプラザと協働し、勉強に熱心なこどもたちにとって魅力的な講義を企画し、参加者数の増加を図る。 ・教育委員会等への後援依頼をはじめ、積極的に広報活動を行う。		
決算額	199千円			年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)			
執行率	73%			目標		100	100	100	100	100			
47	学校教育課	1・ 目標を 達成	指標(単位)	通学路安全対策事業要望に対する対応割合 (%)									・今後も、児童生徒が安全に登下校できる環境を維持し、さらにより良くするため、改善要望に対して関係課や関係機関と連携し、対応していく。
	総振CD		2215-08	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)			
	プランCD		0501-09	目標		100	100	100	100	100			
	通学路安全対策事業		実績	100	100	100	100						
			・すべての要望に対して対応を実施、または関係課に依頼を依頼でき、目標を達成することができた。 ・年度当初の通学路点検とあわせて要望の提出を求めているため、実際に教職員が地域を踏査した結果を反映した要望となっている。関係各課と対策を協議する場を持ち、要望の対応を協議した結果、対応割合100パーセントを達成することができた。										
	予算額		20,386千円	実績	100	100	100	100					
決算額	19,833千円	目標		100	100	100	100	100					
執行率	97%	実績	100	100	100	100							

施策2 子どもの健やかな成長の支援

施策3 青少年の健全育成の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
48	生涯学習課		2・概ね達成	指標(単位)	成人式出席率(新成人の内、実際に成人式に出席した人数の割合)(%)							・参加率を上昇させるため、実行委員の意見をより式典内容に反映させるとともに、一人でも多くの方に参加してもらえるよう、開催周知を徹底する。
	総振CD	2215-17		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0503-01		目標		85	85	85	85	85		
	二十歳の集い開催事業			実績	70	75	71	76				
	予算額			・加須市の一体感の醸成を図るため、初めて会場を1か所に統合して開催した。								
	決算額			・二十歳の集い実行委員会との協働により、二十歳の集いが円滑に実施がされ、新たに二十歳となった成人の自覚と意識の高揚が図られたため、「概ね達成」と評価した。								
	執行率			70%								
49	生涯学習課		4・大幅に遅れている	指標(単位)	少年の主張、講演会の観客来場人数(人)							・運営方法や周知活動など関係機関と協議しながら児童・生徒の主張のすばらしさを伝えるべく、広く市民へ呼びかけるが、ホールのキャパシティもあるため、来場者数の大幅な増加は難しい。今後、目標値の修正を検討する。
	総振CD	2215-07		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0503-02		目標		600	600	600	600	600		
	青少年健全育成事業			実績	0	0	201	280				
	予算額			・関係課と協力して休日に大会を開催しているが、来場者の大半が関係者であり、一般の来場者の割合が少ない。このため、観客来場者数が目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。								
	決算額			2,943千円								
	執行率			98%								

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

施策1 生涯学習活動の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
50	生涯学習課	3・ やや遅 れている	指標(単位)	事務事業達成度における全事業数に対する「概ね順調」「達成済」の割合 (%)							・多くの事業がコロナ禍の影響が残っているが、第3次生涯学習推進計画を計画的に推進するとともに適正な管理を行う。	
	総振CD		2311-02	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD		0601-02	目標		95	95	95	95	95		
	生涯学習推進計画進行管理事業		実績	100	100	44	54					
	予算額		133千円	・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられた後も、コロナ禍の影響により、事業実績が回復していないため、「やや遅れている」と評価した。								
	決算額		88千円									
	執行率		66%									
51	生涯学習課	2・ 概ね達成	指標(単位)	加須市社会教育委員の総会等・研修会への参加 (件)							・社会教育委員の専門的知識習得のため、積極的な研修参加を図る。 ・課内全体の事務経費の適切な執行を行う。	
	総振CD		2311-06	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD		0601-03	目標		8	8	8	8	8		
	生涯学習管理事業		実績	0	5	7	7					
	予算額		3,458千円	・社会教育委員の総会・研修が書面開催や一部中止となった催しもあったが、少しずつ、参加が機会が増えたことから、目標値の87.5%となったため、「概ね達成」と評価した。								
	決算額		2,264千円									
	執行率		65%									
52	生涯学習課	2・ 概ね達成	指標(単位)	コミュニティセンターでの講座の受講率 (%)							・利用者ニーズに合ったセミナーが実施できるよう情報収集を行い、更なる利用者数の増加を図る。 ・市民講師の情報をデータベース化し、市民等の問い合わせに的確かつ迅速に responding していく。	
	総振CD		2311-03	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD		0601-04	目標		80	80	80	80	80		
	生涯学習きっかけづくり支援事業		実績	0	76	72	77					
	・各コミュニティセンターにおいて、幅広い年齢層に向け、ニーズや社会問題などを取り上げた講座を実施し、目標値にほぼ達しているため「概ね達成」と評価した。											
			3・ やや遅 れている	指標(単位)	生涯学習市民企画委員人数 (人)							・市民企画委員「アシストかそ」や各生涯学習推進員との協働により先駆的で話題性のあるテーマのセミナーを企画運営する。 ・利用者ニーズに合ったセミナーが実施できるよう情報収集を行い、更なる利用者数の増加を図る。 ・市民企画委員「アシストかそ」の活動の紹介や魅力発信を継続し、新規委員の募集を図る。 ・市民講師の情報をデータベース化し、市民等の問い合わせに的確かつ迅速に responding していく。
				年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
				目標		16	16	16	16	16		
				実績	15	13	12	11				
				・市民企画委員の高齢化、新規加入者の退会があり、市民企画委員への勧誘や募集を行ったが増員に結びつかなかったことにより、目標値を下回ったため「やや遅れている」と評価した。 ・市民企画委員との協働により事業を実施(企画)することで、市民との協働による生涯学習を推進した。								
	予算額	5,114千円										
	決算額	4,068千円										
	執行率	80%										

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
53	生涯学習課	1・目標を達成	指標(単位)	市民学習カレッジの受講率 (%)							・市民企画委員「アシストかぞ」との協働によりバラエティ豊かなセミナーを実施(企画・運営)するだけでなく、市民のニーズに合ったセミナーが実施できるよう情報収集を行うことで、講座の更なる質の向上を図っていく。	
	総振CD		2311-04	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD		0601-05	目標		80	80	80	80	80		
	市民学習カレッジ事業		実績	0	83	81	83					
			・生涯学習の機会の提供を促進するため、市民ボランティア(市民企画委員「アシストかぞ」)と協働しながら、生涯学習課主催又は他課との共催として65セミナーを実施し、目標を達成することができた。									
	予算額	2,874千円	4・大幅に遅れている	指標(単位)	市民学習カレッジサークル化率 (%)							・市民のニーズに合ったセミナー(講座)が実施できるよう情報収集を行うことで、講座の更なる質の向上を図り、サークル化につなげる。 ・アンケートの意見をもとに、サークル化の課題を整理し、受講生に適切なアドバイスをを行い、サークル化促進を図る。
	決算額	1,945千円		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	執行率	68%		目標		14	15	15	15	15		
54	生涯学習課	3・やや遅れている	指標(単位)	シニアいきいき大学の受講定員 (人)							・平成国際大学と連携、協議しながら、各学部の持つ専門的な学習の場を提供する。 ・高齢者の自発的な学習活動の促進のため、社会状況や市民ニーズを踏まえた講義内容を毎年ブラッシュアップする。 ・指標、目標の計画設定時と現在で会場である平成国際大学の施設管理の状況が変わったため、今後、目標値の修正を検討する。	
	総振CD		2311-05	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD		0601-06	目標		230	230	230	230	230		
	シニアいきいき大学事業		実績	91	99	106	142					
			・60歳以上の市民を対象にした平成国際大学との連携事業であり、全日程(合計20回)を実施した。目標値に達していないため「やや遅れている」と評価したが、5年度も募集定員を上回る申し込みがあった。 ・駐車場や教室の利用に伴い、大学から人数制限の要請があり、人文科学部定員66人(1年生)、社会科学部定員76人(2年生)で実施した。									
	予算額	759千円	3・やや遅れている	指標(単位)	4施設延べ利用者数 (人)							・高齢者にも利用しやすい施設を目指し、引き続き、計画的に施設修繕を進める。 ・案内板表示を拡大するなど環境を整備する。 ・利用者拡大のため、市のホームページ(公共施設予約管理システム)により施設の予約状況の確認ができることを周知していく。 ・各イベントの周知方法、特に高齢者にもわかりやすい周知となるよう検討する。
	決算額	730千円		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	執行率	96%		目標		245,000	246,000	247,000	248,000	249,000		
55	生涯学習課	3・やや遅れている	指標(単位)	4施設延べ利用者数 (人)							・令和元年度の利用人数は225,259人、利用件数10,718件である。令和5年度の利用人数は、178,067人、利用件数9,989件であり、ほぼコロナ禍以前の利用に戻りつつある。しかしながら、1件あたりの利用人数が、令和元年度21.0人に対し、令和5年度17.8人である。生涯学習全般に言えることであるが、利用者、参加者の高齢化が要因となり、目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。	
	総振CD		2311-09	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD		0601-07	目標		245,000	246,000	247,000	248,000	249,000		
	文化・学習センター管理運営事業		実績	60,034	103,821	159,460	178,067					
			・令和元年度の利用人数は225,259人、利用件数10,718件である。令和5年度の利用人数は、178,067人、利用件数9,989件であり、ほぼコロナ禍以前の利用に戻りつつある。しかしながら、1件あたりの利用人数が、令和元年度21.0人に対し、令和5年度17.8人である。生涯学習全般に言えることであるが、利用者、参加者の高齢化が要因となり、目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。									
	予算額	287,808千円	3・やや遅れている	指標(単位)	4施設延べ利用者数 (人)							・令和元年度の利用人数は225,259人、利用件数10,718件である。令和5年度の利用人数は、178,067人、利用件数9,989件であり、ほぼコロナ禍以前の利用に戻りつつある。しかしながら、1件あたりの利用人数が、令和元年度21.0人に対し、令和5年度17.8人である。生涯学習全般に言えることであるが、利用者、参加者の高齢化が要因となり、目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。
	決算額	268,387千円		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	執行率	93%		目標		245,000	246,000	247,000	248,000	249,000		

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
56	生涯学習課	2・概ね達成	指標(単位)	プラネタリウム観覧者数 (人)							・未来館のリニューアルを実施し、人気、魅力あるプラネタリウムの番組を導入する。市内小中学生へのチラシ配布のほか、他自治体の小学生に向けて案内チラシを配布する。また、SNS、市HPを積極的に活用し、効果のある情報発信を行う。
	総振CD		2311-13	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0601-08	目標		15,500	16,000	16,500	17,000	17,500	
	加須未来館管理運営事業		実績	1,819	4,153	10,753	14,062				
			・コロナ禍前に実施していたプラネタリウムコンサートが再開されるなど、観覧者数は増加傾向にある。								
	4・大幅に遅れている	指標(単位)	加須未来館年間来館者数 (人)							・未来館のリニューアルを実施し、繰り返し来館してもらえるリピーターの獲得を目指す。 ・周知方法を見直し未来館入館者数の増加を図る。 ・新たに実施するロボットイベントを交流ふれあいイベント時に開催するなどして、ふれあいイベントでの来館者数の増加を図る。	
		総振CD	2311-13	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度		7年度(目標年)
		プランCD	0601-08	目標		96,000	97,000	98,000	99,000		100,000
		予算額		実績	19,341	26,908	42,337	47,947			
				・令和5年4月29日に加須市を特集するテレビ局の放映があったため、ゴールデンウィーク期間中の入場者数が増加したが、それ以外は伸び悩んだ。周知方法を工夫する必要がある。 ・農業振興課のイベントに合わせて感謝祭や交流ふれあいイベントを開催したり、夜間天体観望などの講座をコロナ禍前の規模、回数に戻したが、参加者は増えなかった。 ・目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。							
決算額	50,738千円										
執行率	93%										
57	生涯学習課	4・大幅に遅れている	指標(単位)	余裕教室利用団体数 (団体)							・各学校における一時利用可能教室数が減少しているため、各学校と調整を図り利用可能校を増やしていく。 ・利用者を増やすために、更なる周知を図っていく。
	総振CD		2311-12	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0601-12	目標		4	4	4	4	4	
	余裕教室等活用事業		実績	3	0	0	0				
			・新型コロナウイルス感染症により休止していた団体が活動を再開した一方、その後も活動を控えている団体や、活動場所を他の会場に変更した団体があるため、利用実績がなかった。余裕教室の利用は、現在稼働中の公共施設予約管理システムの対象外であり、活用できる教室は年度当初に確定するため、毎年活動場所が変更になることもあり、長期的な活動場所として好まれない。このため、利用実績に繋がらず、「大幅に遅れている」と評価した。								
	予算額	0千円	※余裕教室等5校5教室 礼羽小、志多見小、鴻荃小、北川辺西小、北川辺東小								
		決算額	0千円								
		執行率	—								

施策2 芸術文化の振興

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
58	生涯学習課	3・ やや遅 れてい る	指標(単位)	4施設延べ利用者数 (人)							・高齢化社会に対応し、利用しやすい施設を目指し、引き続き、計画的に施設の修繕を進める。 ・案内板表示を拡大するなど環境を整備する。 ・利用者拡大のため、市のホームページ（公共施設予約管理システム）により施設の予約状況の確認ができることを周知していく。 ・各イベントの参加者拡大のため、周知方法、特に高齢者にもわかりやすい周知となるよう、その方法を検討する。
	総振CD		2312-03	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0602-01	目標		245,000	246,000	247,000	248,000	249,000	
	文化・学習センター芸術文化振興事業		実績	60,034	103,821	159,460	178,067				
	・令和元年度の利用人数は 225,259人 利用件数 10,718件である。令和5年度の利用人数は、178,067人 利用件数 9,989件であり、ほぼコロナ禍以前の利用に戻りつつある。しかしながら、1件あたりの利用人数が、令和元年度21.0人に対し、令和5年度17.8人である。生涯学習全般に言えることであるが、利用者、参加者の高齢化が要因となり、目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。										
		4・ 大幅に遅 れてい る	指標(単位)	文化・学習センター自主公演事業来場者 (人)							・自主公演事業の今後のありかたを検討する。 ・共催型公演事業の募集要項を作成し、情報発信を行う。 ・芸術文化団体の立ち上げに関する情報発信を行う。 ・今後、目標値の修正を検討する。
	総振CD		2312-03	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0602-01	目標		5,000	5,200	5,400	5,600	5,800	
	文化・学習センター自主公演事業		実績	0	1,265	3,841	2,126				
	・コロナ禍以前は、市が会場使用料及び施設備品使用料を負担すれば、それ以外の公演にかかる費用は興行主が負担し、公演を実施していた。しかし、現在は公演に係るすべての経費（会場整理などの人的負担等）を市側が負担することを興行主から求められる。このため、フロアティーストによるコンサート等などの開催がなかったことにより、自主公演事業が前年度よりも減少し、来場者数が目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。										
		予算額	5,752千円								
		決算額	1,612千円								
		執行率	28%								
59	生涯学習課	3・ やや遅 れてい る	指標(単位)	各地域文化祭の来場者数 (人)							・今後は、市民が文化、芸術に直接参加、鑑賞、発表できる機会を充実させ、市民文化の高揚を図り、多くの市民が参加する芸術、文化活動を図っていく。
	総振CD		2312-01	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0602-02	目標		20,500	20,600	20,700	20,800	20,900	
	地域文化振興事業		実績	0	0	14,000	14,500				
	・4地域の文化祭全て開催し、さらに、県展かぞ、市美術展、市民音楽祭等を開催した。文化祭来場者は4年度と比較して500人増加し、市民の文化芸術活動の振興に寄与できたが、目標値に達していないため「やや遅れている」と評価した。										
		3・ やや遅 れてい る	指標(単位)	文化祭の参加団体数 (団体)							・今後は、多くの市民が参加できる魅力ある創作活動の発表の場をつくり、市内芸術文化の向上を図っていく。
	総振CD		2312-01	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0602-02	目標		240	245	250	250	250	
	地域文化振興事業		実績	0	0	160	159				
	・参加団体数は新型コロナウイルス感染症の影響により、4年度から減少した。目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。										
		予算額	6,000千円								
		決算額	4,943千円								
		執行率	82%								

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
60	生涯学習課		4・大幅に遅れている	指標(単位)	地区文化祭来場者数 (人)							・市民の安全を確保しつつ、文化や芸術への参加、鑑賞、発表できる機会を充実させ、市民文化の高揚を図る。 ・幅広い年齢層への利用促進・参画促進・開催周知し芸術文化活動を推進する。 ・実行委員会による内容の見直し、刷新を各コミュニティセンターの生涯学習推進員が具現化する。 ・公民館からコミュニティセンターへ移行した利点を活かした運営を図る。
	総振CD	2312-02		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0602-03		目標		11,300	11,300	11,300	11,300	11,300		
	地区文化祭振興事業			実績	0	0	2,800	5,126				
				・加須地域のコミュニティセンター（旧公民館）を会場に、利用者や学校、市民団体、地元企業などが協働し、作品展示及び演奏発表、模擬店を催し、地域性のある文化祭を開催したものの、目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。 ・減少事由として、参加団体の高齢化、コロナ禍による活動の休止や停止、参加団体の固定化、飲食の制限（感染症等防止のため）、若者のコミセン離れ等が考えられる。 ●文化祭実施地区【9地区】 加須、不動岡、三俣、礼羽、大桑、水深、樋遣川、志多見、大越								
	予算額	855千円										
	決算額	855千円										
	執行率	100%										
61	生涯学習課		1・目標を達成	指標(単位)	偉人パネル展年間開催回数 (回)							・県展かぞやイベント等の展示機会を通じ、偉人の紹介を行っていくとともに、今後は、偉人等身大パネルの市内中学校巡回展示を行う。
	総振CD	2312-04		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0602-04		目標		8	8	8	8	8		
	偉人顕彰事業			実績	1	2	6	8				
				・従来の展示機会の実施を維持しつつ、偉人等身大パネルが完成し、市内小学校巡回展示を行ったことにより、目標を達成することができた。								
	予算額	4,892千円										
	決算額	4,743千円										
	執行率	97%										

施策3 文化財の保存継承による郷土愛の醸成

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
62	生涯学習課	3・ やや遅 れている	指標(単位)	北川辺郷土資料館の来館者数 (人)							・北川辺郷土資料館については、北川辺の歴史をよりわかりやすく、詳しく展示していく。また、加須の水辺のくらしについてPRを行う。
	総振 CD		2313-04	年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)	
	プラン CD		0603-01	目標		760	765	770	775	780	
	騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業		実績	139	577	396	592				
			・小学校の見学等受け入れたが、利用者が目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。								
		1・目 標を達 成	指標(単位)	騎西郷土史料展示室の来館者数 (人)							・騎西郷土史料展示室について は、展示替え等を検討し、内容の 充実に努める。
	年度		2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)			
	目標			2,660	2,645	2,690	2,705	2,720			
	実績		101	601	2,899	5,382					
	・市民の日を含む6日間、「騎西城跡 騎西城武家屋敷跡遺跡出土遺物等特別展」を実施した(十六間筋兜を含む53点の出土品展示、文化庁調査官講演、発掘調査担当者講演、兜研究者講演、中学生制作の体験型兜及び障子堀模型の展示等)結果、来館者実績が、目標を大幅に上回ることができた。										
	予算額		2,894千円								
	決算額		2,552千円								
	執行率		88%								

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
63	生涯学習課	1・ 目標を達成	指標(単位)	インターネット博物館のアクセス回数(件)							・コンテンツの追加を目指し、最近注目されている、騎西城跡の発掘調査に関する資料や、加須市の偉人に関するコンテンツを充実させていく。 ・文化財マップを作製する(2カ年)。 ・スマホ画面に対応した閲覧画面の作成をすすめる。
	総振CD		2313-02	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0603-02	目標		13,100	13,200	13,300	13,400	13,500	
	加須インターネット博物館管理運営事業		実績	14,557	15,490	19,377	21,000				
	・斎藤与里の絵画、下總皖一の楽曲、騎西城跡の発掘調査の動画を新たにインターネット博物館で公開したため、目標を達成することができた。										
	予算額		617千円								
	決算額		616千円								
	執行率	100%									
64	生涯学習課	2・ 概ね達成	指標(単位)	伝統文化保存会後継者数(人)							・他市同事例を参考に保存会の活性化を支援する。
	総振CD		2313-03	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0603-03	目標		316	317	318	319	320	
	伝統文化継承支援事業		実績	318	310	274	306				
	・各保存団体の活動がコロナ禍以前に戻り、活発な活動を行ったこと、また、伝統文化保存会の後継者数が伸びたため、「概ね達成」と評価した。										
	予算額		3,899千円								
	決算額		2,899千円								
	執行率	74%									
65	生涯学習課	2・ 概ね達成	指標(単位)	文化財回答件数(文化財質問への回答件数)(件)							・メールやFAXなどを多様し来館しなくても回答できる方法を周知し、より迅速な対応をすすめる。
	総振CD		2313-01	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0603-04	目標		90	90	90	90	90	
	文化財の保存と活用による地域活性化事業		実績	93	86	86	87				
	・窓口や電話等における文化財の質問に対して、必要な資料を収集し、迅速にわかりやすく回答した。										
	予算額		13,444千円								
	決算額		10,999千円								
	執行率	82%									

施策4 読書活動の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
	図書館課			指標(単位)	事業の満足度 (%)								
66	総振 CD	2314-03	4・大幅に遅れている	年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)	・令和6年度からは、健診時にプレゼントする絵本を、こどもの名前が入った知育絵本に変更し、図書館で受け渡しをして利用促進を図る。その際、事業についてのアンケート調査を実施する。 絵本の読み聞かせについては、実施する方法を探る。		
	プラン CD	0604-03		目標		100	100	100	100	100			
	絵本との親子ふれあい事業			実績	－	－	－	－					
	・9～10か月児健診において、絵本の読み聞かせ及び絵本との親子ふれあい事業についてのアンケート調査をする場所を確保できなかったため、「大幅に遅れている」と評価した。												
	予算額	379千円											
	決算額	359千円											
	執行率	95%											

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
67	図書館課	1・ 目標を達成	指標(単位)	ブックトークの年間実施回数 (回)							・今後も学校訪問を実施し、学校に働きかけをして参加校数の増加に努める。
	総振CD		2314-04	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0604-04	目標		24	25	26	27	28	
	ブックトーク・おはなし会開催事業		実績	3	17	31	55				
	予算額		105千円								
	決算額		90千円								
	執行率		86%								
68	図書館課	2・ 概ね達成	指標(単位)	市民1人当たりの蔵書数 (冊)							・今後も計画的な図書館資料の購入・収集・受入・除籍の実施をする。
	総振CD		2314-05	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0604-05	目標		5.25	5.26	5.27	5.28	5.30	
	図書資料整備充実事業		実績	5.28	5.29	5.28	5.26				
	予算額		21,003千円								
	決算額		20,921千円								
	執行率		100%								
69	図書館課	3・ やや遅れている	指標(単位)	市民一人当たりの年間貸出冊数 (冊)							・他部局との連携を図り、各種展示や「おはなし会」等のイベントに関する情報発信を行って、図書館の利用促進及び貸出冊数の増加に取り組む。
	総振CD		2314-06	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0604-06	目標		5.10	5.20	5.20	5.30	5.30	
	図書館管理運営事業		実績	3.27	4.18	4.06	3.96				
	予算額		89,362千円								
	決算額		84,638千円								
	執行率		95%								
70	図書館課	2・ 概ね達成	指標(単位)	図書館まつり参加者数 (人)							・今後もボランティア団体との協働による、安全で魅力ある図書館まつりを開催する。
	総振CD		2314-07	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0604-07	目標		3,515	3,535	3,555	3,575	3,600	
	図書館まつり開催事業		実績	0	—	2,642	3,115				
	予算額		0千円								
	決算額		0千円								
	執行率		—								

施策5 人権教育の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
71	生涯学習課		3・ やや遅 れている	指標(単位)	人権教育推進事業への延参加者数 (人)							・参加者に理解しやすい講座を計画し、さらに、人権意識を高める啓発を行い、人権問題を解決していく。
	総振CD	2511-04		年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)		
	プランCD	0605-04		目標		6,000	6,000	6,000	6,000	6,000		
	人権教育推進事業			実績	1,886	533	2,416	3,386				
	・コロナ感染症の減少状況や安全対策を進めながら講座を実施したことなどにより、令和4年度よりも参加人数が増加した。 ・講座の縮小により、参加人数を制限して実施したが目標を下回ったため「やや遅れている」と評価した。									・参加者に理解しやすい講演会等を計画し、今後も人権意識を高める啓発を行い、人権問題を解決していく。		
			指標(単位)	人権問題講演会等の延受講者数 (人)								
			年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)			
			目標		1,850	1,850	1,850	1,850	1,850			
			実績	312	1,503	875	1,713					
	・人権問題講演会等を年間9回開催し、人権意識を高める啓発を行った。延受講者数は目標値を下回ったため、「概ね達成」と評価した。 ・参加者に理解しやすい内容の講演会等を開催した。											
予算額		8,507千円	2・ 概ね達成									
決算額		6,044千円										
執行率		71%										

基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります

施策1 スポーツ参画人口の拡大

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
72	スポーツ振興課	3・ やや遅 れている	指標(単位)	数値目標の達成率 (%)							・第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画に基づき、スポーツ団体等への支援をはじめ、スポーツにふれる機会などをつくり、スポーツを普及推進する。
	総振CD		2411-02	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0701-02	目標		80	80	80	80	80	
	スポーツ・レクリエーション推進計画進行管理事業		実績	67	73	57	54				
	予算額		・スポーツ参画人口やスポーツ交流人口の拡大を図るため、スポーツ教室や大会を開催したが、新型コロナウイルス感染症予防や熱中症対策として、無観客やイベントの短縮等の対応により実績値が目標を下回ったため「やや遅れている」と評価した。								
	決算額										
	執行率		47%								
73	スポーツ振興課	3・ やや遅 れている	指標(単位)	スポーツ・レクリエーション団体の加盟人数 (人)							・スポーツ協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団の会員数を増やすため、ホームページなどの広報活動を充実する。
	総振CD		2411-03	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0701-03	目標		5,300	5,500	5,600	5,800	6,000	
	スポーツ普及推進事業		実績	5,488	4,940	4,497	4,227				
	予算額		・様々な活動が制限なく開始されイベントやスポーツ活動が活発に行われるようになったが、既存の団体の解散や脱退した会員があったことから、会員数が減少傾向にある。目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。								
	決算額		15,924千円								
	執行率		97%								
74	スポーツ振興課	4・ 大幅に遅 れている	指標(単位)	地域体育祭参加者数 (人)							・地域住民相互の交流を図るため継続して支援していく。市民参加を促進する安全・安心な体育祭開催に向けてプログラムの見直し等を進める。
	総振CD		2411-04	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0701-04	目標		7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	
	市民体育祭支援事業		実績	0	0	0	2,000				
	予算額		・4年ぶりまたは5年ぶりに開催できた。これまでの課題であった参加者確保のため、自由参加種目を増やしたり工夫しながら開催したが、天候により中止や室内での短時間開催となり、目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。								
	決算額		1,863千円								
	執行率		74%								
75	スポーツ振興課	4・ 大幅に遅 れている	指標(単位)	スポーツ教室参加人数 (人)							・多くの市民が参加できるよう、開催時期や回数について検討するとともに、スポーツ協会などの関係団体と連携し、スポーツ協会が主体となる新たなスポーツ教室の開催を検討する。
	総振CD		2411-05	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0701-05	目標		740	780	800	800	800	
	スポーツ教室等開催事業		実績	126	210	289	387				
	予算額		・子どもから高齢者まで幅広く参加できる教室として、ポッチャなどのニュースポーツやヨットやカヌーなどのウォータースポーツなどを開催したが、指導者の確保が困難であり、安全面も考慮し定員を設けたため参加人数は目標に達しなかったため、「大幅に遅れている」と評価した。								
	決算額		519千円								
	執行率		39%								

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
76	スポーツ振興課		2・概ね達成	指標(単位)	グラウンドゴルフ競技人口数 (人)							・誰でも気軽にできる健康づくりのスポーツであり、協会に加盟していない愛好者も大会に参加できるよう協会と連携していく。
	総振CD	2411-06		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0701-06		目標		1,300	1,330	1,350	1,380	1,400		
	グラウンドゴルフ推進事業			実績	1,219	1,133	1,115	1,115				
	予算額			305千円	・スポーツ協会やレクリエーション協会主催による大会が多く開催され、高齢者を中心に加盟者数も目標値にほぼ達しているため、「概ね達成」と評価した。							
	決算額			300千円								
	執行率			98%								
77	スポーツ振興課		1・目標を達成	指標(単位)	ウォーキング大会開催数 (回)							・ウォーキングは誰もが簡単にできる健康づくりであり、引き続き、スポーツ協会と連携し事業を進めていく。
	総振CD	2411-07		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0701-07		目標		14	14	14	14	14		
	健康スポーツ推進事業			実績	4	7	8	14				
	予算額			207千円	・市、スポーツ協会等で予定通り大会を開催することができたため、「目標を達成」と評価した。							
	決算額			182千円								
	執行率			88%								
78	スポーツ振興課		3・やや遅れている	指標(単位)	加須こいのぼりマラソン大会、加須ふじの里駅伝大会の市民ボランティアの人数 (人)							・スポーツ推進委員による市民スポーツ活動の推進を継続するほか、市民協力によるボランティア活動の人材確保を引き続き行う。
	総振CD	2411-13		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0701-13		目標		800	800	800	800	800		
	スポーツ支援人材育成・活用事業			実績	0	0	699	563				
	予算額			5,150千円	・各種団体からの協力や学生等による運営ボランティアの協力を得て活動することができたが、目標値に達していないため、「やや遅れている」と評価した。							
	決算額			3,695千円								
	執行率			72%								
79	スポーツ振興課		4・大幅に遅れている	指標(単位)	総合型地域スポーツクラブ会員数 (人)							・平成国際大学を利用したスポーツクラブの設立に向け、検討・協議を進めていく。
	総振CD	2411-15		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0701-15		目標		900	900	900	900	900		
	総合型地域スポーツクラブ育成事業			実績	450	350	350	350				
	予算額			22千円	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響に伴い、新たな総合型地域スポーツクラブの設置等がなかったことにより、目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。							
	決算額			0千円								
	執行率			0%								

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
80	スポーツ振興課	1・目標を達成	指標(単位)	年度計画に対する整備率(%)							・施設の老朽化に伴い順次改修を行い、安全・安心な施設運営に努めていく。
	総振CD		2411-16	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0701-16	目標		60	65	70	75	75	
	スポーツ施設整備事業		実績	62	64	68	72				
	・施設の安全管理のため、安全管理上必要なものから実施し、施設の整備・充実を図ることができ、目標を達成することができた。										
	予算額		2,618千円								
	決算額		2,529千円								
	執行率	97%									
81	スポーツ振興課	3・やや遅れている	指標(単位)	体育館、運動公園施設の年間利用者数(人)							・安全で快適にスポーツできる施設の提供できるよう必要な修繕を行うとともに、老朽化している施設備品が多いため、交換や修繕などにより安心して利用できるよう努める。 ・公共施設予約管理システムを活用し、市民を含め利用促進を図る。
	総振CD		2411-17	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0701-17	目標		660,000	665,000	670,000	675,000	680,000	
	スポーツ施設管理運営事業		実績	292,698	386,268	450,595	468,748				
	・安全・安心なスポーツ施設として市民に利用していただけるような適切な維持管理を行ったほか、市民の日記念事業として無料で施設の利用等、知用促進を図ったが利用者数が目標に達しなかったため、「やや遅れている」と評価した。										
	予算額		155,629千円								
	決算額		152,978千円								
	執行率	98%									
82	スポーツ振興課	2・概ね達成	指標(単位)	学校体育施設年間利用者数(人)							・学校体育施設を有効に活用し、市民にスポーツ・レクリエーション活動をする場を広く提供する。
	総振CD		2411-18	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0701-18	目標		170,000	180,000	190,000	200,000	210,000	
	学校体育施設開放管理運営事業		実績	78,594	126,087	193,685	169,137				
	・学校教育に支障のない範囲で市民に開放し、概ね目標を達成することができた。										
		3・やや遅れている	指標(単位)	学校体育施設開放利用者団体登録数(団体)							・学校体育施設を有効に活用し、市民にスポーツ・レクリエーション活動をする場を広く提供する。
			年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
			目標		210	220	230	240	250		
			実績	195	189	344	170				
	・加須市内在住・在勤者による利用希望登録団体に対し、学校教育に支障のない範囲で市民に開放したが、利用希望登録団体の解散や市立体育館への利用場所変更等により目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。										
	予算額		3,428千円								
	決算額		2,732千円								
	執行率		80%								

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
83	スポーツ振興課		1・ 目標を達成	指標(単位)	彩の国KAZOヴィレッジの年間利用市内団体数(団体)							・幅広くスポーツに親しめる場の活用によって、スポーツの普及や競技人口の増加に努める。
	総振CD	2411-19		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0701-19		目標	250260270280290							
	民間・県施設活用事業			実績	133	208	232	290				
				・施設の利用をホームページ等で周知し目標を達成することができた。								
	予算額	20千円										
	決算額	6千円										
	執行率	30%										
84	スポーツ振興課		1・ 目標を達成	指標(単位)	不具合による事故発生件数(件)							・利用者の安心・安全のため引き続き施設の維持管理や安全点検を行う。
	総振CD	2411-21		年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0701-21		目標	00000							
	スポーツ施設安全点検事業			実績	0	0	0	0				
				・利用者が安心・安全に施設を利用できるよう、日々安全点検を実施し、目標を達成することができた。								
	予算額	0千円										
	決算額	0千円										
	執行率	—										

施策2 スポーツを核とした交流人口の拡大

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
85	スポーツ振興課	1・目標を達成	指標(単位)	女子硬式野球観客数(人)							・選抜大会の開催や埼玉西武ライオンズ・レディースの活動拠点として引き続き活動できるよう支援していく。
	総振CD		2412-01	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0702-01	目標		12,800	13,800	14,800	14,800	14,800	
	女子硬式野球振興事業		実績	無観客	5,009	15,830	20,700				
	・野球連盟や地元の学生と協働し運営しており、毎年、参加チーム数が増加し「女子野球の聖地」として全国にPRできたことから、「目標を達成」と評価した。										
	予算額		3,781千円								
	決算額		2,937千円								
	執行率	78%									
86	スポーツ振興課	4・大幅に遅れている	指標(単位)	クライミングウォール利用者数(加須市民体育館、南篠崎体育館)(人)							・リード壁の利用は複数人が必要であることや講習会の受講が必要などから、より多くの人々が気軽にでき、市内小学校にもあるボルダリング壁を活用した教室等の開催を加須市山岳連盟等と連携して行う。
	総振CD		2412-02	年度	2年度	3年度	4年度	5年度(決算)	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0702-02	目標		11,000	11,500	12,000	12,500	13,000	
	クライミング普及事業		実績	3,870	6,124	7,711	5,920				
	・登録がなくても活動できるボルダリング壁を活用したボルダリング体験会など、新しい事業を開始して利用者の増加を図ったが、目標値を下回ったことから、「大幅に遅れている」と評価した。										
	予算額		3,516千円								
	決算額		2,725千円								
	執行率	78%									

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
87	スポーツ振興課	1・ 目標を達成	指標(単位)	自転車競技大会開催数 (回)							・引き続き、自転車競技大会を開催し市民スポーツへの関心を高める。
	総振 CD		2412-03	年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)	
	プラン CD		0702-03	目標		3	3	3	3	3	
	自転車普及推進事業		実績	3	4	3	3				
			・主催者と協議を行いながら、規模の縮小等の工夫をし大会を開催することにより、目標を達成することができた。								
	予算額		77千円								
	決算額		33千円								
	執行率	43%									
88	スポーツ振興課	3・ やや遅れている	指標(単位)	こいのぼりマラソン大会参加者数 (人)							・市民の健康増進と生涯スポーツの振興を図るため、個人でできる冬のスポーツ事業として引き続き実施していく。
	総振 CD		2412-04	年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)	
	プラン CD		0702-05	目標		6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	
	こいのぼりマラソン大会開催事業		実績	0	0	3,000	3,969				
			・4年ぶりに通常開催をし、キッチンカーの手配や選手ロッカー、複数の参加賞を用意するなどしたが、参加定員を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。								
	予算額		24,194千円								
	決算額		22,229千円								
	執行率	92%									
89	スポーツ振興課	3・ やや遅れている	指標(単位)	加須ふじの里駅伝大会参加チーム数 (チーム)							・近隣での駅伝大会の開催が少なくなったことや距離が長いことから競技性の高い大会となり、特に市外からの競技者の参加が多い。 ・市民の健康増進や体力向上を図る大会として距離の短縮を含め、加須市陸上競技連盟等と検討していく。
	総振 CD		2412-05	年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)	
	プラン CD		0702-06	目標		250	250	250	250	250	
	加須ふじの里駅伝大会支援事業		実績	0	0	183	186				
			・駐車場の確保やコースとなる道路幅員が狭いためランナーの安全の確保として参加チーム数を制限したため、目標値を下回った。								
	予算額		1,332千円								
	決算額		1,332千円								
	執行率	100%									
90	スポーツ振興課	2・ 概ね達成	指標(単位)	全国大会等の誘致数 (回)							・引き続き、全国規模の大会を誘致できるよう、関係団体と連携を図るとともにパブリシティなど積極的に進める。
	総振 CD		2412-06	年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)	
	プラン CD		0702-07	目標		14	14	14	14	14	
	全国大会等支援事業		実績	5	10	14	13				
			・女子硬式野球やクライミング、マラソン大会等を開催し、加須市のイメージアップや大会のPR、競技の普及を図ることができたことから、「概ね達成」と評価した。								
	予算額		94千円								
	決算額		78千円								
	執行率	83%									

その他の教育事業

【事業】 【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
91	教育総務課		3・ やや遅 れている	指標(単位)	教育委員が訪問した教育関連施設数 (校・園)							・教育委員の意見等を踏まえつ つ、訪問先や訪問方法などを工夫 して実施する。 ・引き続き教育委員会事務局の適 正な管理運営を行う。
	総振 CD	2211-28		年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)		
	プラン CD	—		目標		21	22	21	22	22		
	教育委員会運営事業			実績	6	10	17	13				
	・教育関連施設等の小学校4校、中学校1校、幼稚園3園、図書館2 館、保育所1園、県立特別支援学校1校、スイミングスクール1箇所 を6日間で訪問した。その結果、教育委員の見識を深めることがで き、会議での議論の活発化にもつながった。しかしながら、訪問施 設数は目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 ・教育委員会定例会を12回開催し、教育委員会の権限に属する事 務について協議や審議を行うとともに、議決簿及び会議録をHPで 公表した。 ・教育委員会交際費をHPで公表した。											
	予算額	4,032千円										
	決算額	3,169千円										
	執行率	79%										
92	教育総務課		1・ 目標を達 成	指標(単位)	「加須市の教育」発行部数 (部)							・「加須の教育」については、内 容を更新するとともに、よりわか りやすいものとなるよう見直しを 行っていく。 ・引き続き教育委員会事務局の適 正な管理運営を行う。 ・教育功労者表彰について、推薦 基準に基づき適正に実施する。
	総振 CD	2211-29		年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)		
	プラン CD	—		目標		160	160	160	160	160		
	教育委員会事務局管理 事業			実績	160	160	160	160				
	・「加須市の教育」について、目標部数の160部を発行し、関係機 関等に配布するとともに、HPで公表したため、「目標を達成」と 評価した。 ・加須市役所を会場に教育功労者表彰式を実施し、推薦基準に基づ く8人を表彰した。											
	予算額	1,352千円										
	決算額	932千円										
	執行率	69%										
93	教育総務課		3・ やや遅 れている	指標(単位)	目標達成率 〔「概ね達成」「目標を達成」の事業数÷全事 業数×100〕 (%)							・第2次加須市人づくりプラン (計画期間：令和3年度から令和 7年度)の進行管理を毎年度行っ ていく。 ・遅れているものについて取り組 み内容の分析を踏まえた改善を促 す。
	総振 CD	2211-02		年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (決算)	6年度	7年度 (目標年)		
	プラン CD	—		目標		80	85	90	95	100		
	加須市人づくりプラン 進行管理事業			実績	—	85.7	59.2	56.7				
	・令和5年度は、155事業178指標のうち101指標(56. 7%)が「概ね達成」「目標を達成」であるため、「やや遅れてい る」と評価した。											
	予算額	0千円										
	決算額	0千円										
	執行率	—										

5 令和4年度評価を踏まえた取組状況等

令和4年度の教育委員会点検・評価で元大桑小学校校長新井信男氏及び平成国際大学特任教授荻原孝之氏の2名の学識経験者からいただいたご意見に対する取組状況等をまとめました。

基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
—	—	基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します	学校教育課
I C T教育の推進について、大変積極的な取組に感謝申し上げます。 8校の学校研究指定、オンラインミニ講座「加須学びD X」、「加須市チャレンジシート」のC B Tでの実施など、効果的であったと思われます。これらの具体的な成果が各事業の指標や評価などに反映できるとさらによいと考えます。 また、人的な支援については、子どもたちのきめ細かな指導が可能となり、教師にとっては学校における働き方改革につながる重要な課題です。教育活動補助員の授業実施、非常勤講師やA F T及びA L Tの配置は、人材不足もあって非常に困難ではあると思いますが、100%配置を目指して、ぜひ、御尽力いただきたいと思います。【新井】			
令和5年度の取組状況等	一人一台端末を活用したI C T教育の推進につきましては、本年度も8校の学校を研究指定し、取り組みましたI C T活用については、現在のところ、教員、児童生徒の活用能力が指標となっています。I C Tの活用取組状況を指標にすることにつきましては、引き続き検討してまいります。 また、人的な支援につきましては、今年度は、教育活動補助員について、一部配置ができていない状況がございます。子どもたちの学びの充実のためにも、100%の配置を目指してまいります。		

施策1 幼児教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0101-02	2131-16	幼稚園預かり保育事業	こども保育課
加須市の幼児教育・市立幼稚園は、埼玉県内はもとより全国に誇れるものです。日頃の幼稚園における保育は、先生方が大変よく工夫しており、それによって、保護者からの信頼も大きいと捉えています。 本事業の預かり保育については、コロナ時代において、保護者のニーズが高まっているなかで、各園が工夫して、預かり保育を実施できたと言えます。希望者がいれば100%開設し、実施することは大変重要であると言えます。【新井】			
令和5年度の取組状況等	加須市の公立幼稚園は、環境を通した教育を重視し、幼児期にふさわしい生活が送れるよう努めております。		

	預かり保育事業につきましては、多様化する保護者のニーズに応え、教育活動の終了後、家庭的な雰囲気の中で無理なく活動できるよう、今後も、安心・安全な保育を実施するよう努めます。
--	--

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0101-02	2131-16	幼稚園預かり保育事業	こども保育課
他市在住の私の目から見ても加須市の公立幼稚園は、全国に誇れる教育をしていると考えます。さらに、子育て支援として預かり保育を実施し、希望者全員の預かり保育を実施したことは、本当に素晴らしいことです。 この指標ではわかりませんが、この事業のために各幼稚園の教諭に対する負担が増加しているのではないのでしょうか。益々多様化するであろう保護者のニーズに対応するためにも、今後、保育士を安定的に確保するなど、預かり保育職員が安心して働ける環境づくりにも配慮していただきたいです。【荻原】			
令和5年度の取組状況等	令和5年度は、各園に預かり保育職員を配置し、幼稚園教諭との綿密な連携の下、希望者全員に預かり保育を実施しました。 引き続き、安定的な人材確保に努め、職員が安心して働ける環境作りを進めてまいります。		

施策2 一人ひとりを伸ばす教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-01	2211-05	少人数学級推進事業	学校教育課
本事業の指標は、人的な配置状況です。「学校における働き方改革」が推進されるなか、現場で働く教員一人一人の働き方を改革するには、業務量の削減を抜きに語れないと感じています。そのための人的配置は最も効果的な方策であると考えます。 このような中、教育活動補助員は、教員免許状を有し、経験豊富な教員であることが多く、学校にとっては大きな戦力であり、それは、子どもたちに大きな利益となります。予算確保と共に、優秀な人材を適材適所に配置できる重要な事業であり、拡大を強く望むところです。【新井】			
令和5年度の取組状況等	令和5年度は、配置基準を満たした小学校9校、中学校3校に、12名の教育活動補助員を配置いたしました。 配置した学校からは、「きめ細やかな指導につながる」「担任の負担軽減につながり、担任がより指導に専念できる」という声があがっていました。 引き続き、学校にとってよりよい人材確保に努め、積極的に配置を進めてまいります。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-01	2211-05	少人数学級推進事業	学校教育課

「学校における働き方改革」を推進するためのもっとも効果的な方策は、人的配置であると考えます。ティームティーチングや少人数指導を行うことで個に応じた指導や生徒指導の充実も図れます。今後、この事業も含めた人的配置を伴う事業の拡大を強く望みます。【荻原】

令和5年度 の取組状況等	学校現場においては、人的配置されることが、働き方改革を進めるうえで多大な効果があると認識しております。 教員業務支援員の配置を含め、学校にとってより効果的な人的配置を進めてまいります。
-----------------	--

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-05	2211-20	サイエンススクール事業	学校教育課
まず、新型コロナウイルス感染症による影響があり 3 年ぶりの未来館学習の再開を喜びたいと感じます。 本事業は、小学校4年生時における大変効果的な事業であり、子どもたちの興味・関心を高めるためにも、継続を強く望みます。理科離れが叫ばれる昨今において、加須未来館という素晴らしい施設をぜひ有効に活用していただきたいと感じます。加須未来館学習=サイエンススクールは、全国に誇る本市教育の特色です。 ぜひとも、すべての子どもたちが未来館を利用したことがあり、リピーターとなっていたいただきたいと感じます。【新井】			
令和5年度 の取組状況等	今年度もサイエンススクール事業において、加須未来館を利用した理科学習を実施いたします。 加須未来館は、天体を学ぶことができる施設として、他市にはない、とても立派なものです。子どもたちの理科に対する興味関心をさらに深められるように、新たな活用を含めて検討してまいります。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-05	2211-20	サイエンススクール事業	学校教育課
加須未来館におけるサイエンススクールは本市独自の理科教育として高く評価しています。事業実施後のアンケート調査において、理科への興味・関心を持った児童の割合が目標値を下回ったことから「やや遅れている」と評価したということですが、新型コロナウイルス感染症による影響で開催されなかった事業が3年ぶりに再開できたことを大いに評価したいと思います。【荻原】			
令和5年度 の取組状況等	今年度もサイエンススクール事業において、加須未来館を利用した理科学習を実施いたします。 昨年度の事業実施後のアンケート調査では、理科への興味・関心をもった児童の割合が目標値を下回ったものの、令和4年度と比較すると向上しております。今年度も、小学校4年生児童は、加須未来館での天体の学習をとて楽しみにしております。子どもたちの理科に対する興味関		

	心をさらに深められるように、引き続き実施してまいりたいと考えております。
--	--------------------------------------

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-08	2211-32	生徒派遣援助事業	教育総務課
交付件数が目標値を下回ったことから「やや遅れている」と評価したとありますが、関東大会、全国大会の出場件数を目標に設定していることがおかしいと思います。関東大会、全国大会はそれぞれ厳しい予選があるためなかなか出場できないのが現状です。出場した29人に対し、自己負担が生じないよう派遣費が規定通り補助できたのであれば、「目標を達成」の評価で良いのではないかと考えます。【荻原】			
令和5年度の取組状況等	令和5年度も引き続き関東大会、全国大会に出場した生徒に対し、大会出場に係る必要な経費について、自己負担が生じないように補助しました。 指標の見直しについては、上位計画との整合を図りながら、見直しのタイミングで検討してまいります。		

施策3 教職員の資質能力の向上

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-01	2211-08	学校訪問指導事業	学校教育課
本事業の趣旨は、学力向上に直結する教師の指導力向上であり、学校訪問による指導は大変重要です。その訪問指導がこれまで新型コロナウイルス感染症により実施できなかったことを改善し、きめ細かな指導助言にあたることができたのとすることができ、大変素晴らしいと感じます。 幼稚園・学校訪問は、指導主事等の重要な職務と捉えています。新型コロナウイルス感染症対応をよい経験として、今後も訪問指導を工夫していただきたいと思います。 具体的には、すでに実施されているかもしれませんが、オンラインなどをうまく使って、指導主事の高い知識と技能を活用できるのではないのでしょうか。 実際に、教師の授業を1単位時間参観することは大切なことですが、それができなくても、教師の指導力向上につながる訪問指導事業の在り方を工夫・検討していただきたいと思います。【新井】			
令和5年度の取組状況等	学校訪問につきましては、初任者の育成に係る指導主事の訪問や、授業力向上のためのスマイルアップ要請訪問、市教委から指導員の委嘱を受けた、市内小中学校の教員が指導をする指導員訪問等がございます。 学校のニーズに応じたスマイルアップ訪問や指導員訪問をとおして、具体的、実践的な指導を受けることにより、教員が自らの授業を見直すきっかけとなっております。 教師の授業力向上に向けた支援につきましては、今後も新しい取組を含めて検討してまいります。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-03	2211-15	教師用教科書・指導書措置事業	学校教育課
教師用教科書・指導書は、特に若い年代の教員にとって必要不可欠な物であると考えます。学級の増設や教員の増員で必要となった教師用教科書・指導書が直ちに100%配布されたことは、当たり前のことのようにですが、素晴らしいことだと考えます。【荻原】			
令和5年度の取組状況等	今後も学級の増設等があった場合、教師用教科書と指導書が措置できるよう、努めてまいります。		

施策4 ICTを活用した教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0104-01	2211-09	学校ICT教育活用事業	学校教育課
本事業は、本市の最重要課題の1つであると捉えています。GIGAスクール構想と相まって、コロナ時代において、大きな成果を発揮できたと感じています。 また、今後の学校教育においても重要な役割を担う事業となります。その事業において、目標を達成できていることは、所管課の御尽力に感謝したいと思います。 教職員の情報活用能力を育成するために、学校教育課の指導主事や教育センターの職員による支援や研修、企業の支援員によるサポートは大変効果的でした。 今後も、予算も多く必要とする本事業の目的が十分に達成できることが重要であると考えます。【新井】			
令和5年度の取組状況等	一人一台端末が配備されて4年目となりました。今年度も市内8校のICT活用推進校を中心に、市内30校においてICT教育の推進に取り組みました。教員、児童生徒ともにICTの活用能力は間違いなく向上しておりますが、活用が進むからこそその課題も見えてきております。情報モラルやセキュリティの問題では、今後も学習や研修に努めてまいります。また、次期端末更新が令和7年度に予定されております。より効果的な学習用ツール・ソフト等について検討を続けてまいります。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0104-01	2211-09	学校ICT教育活用事業	学校教育課
「学校における働き方改革」を推進するための効果的な方策のひとつとして、ICTを活用した校務の効率化は不可欠であると考えます。その目標が「概ね達成」できたことは素晴らしいことです。この事業の一層の充実を強く望みます。 一方、教員及び児童生徒に配布されている端末に、不具合が発生したり、修理等が必要になったりした場合の対応についてはどのようなになっているのでしょうか。特に、児童生徒に配布されている端末の管理等が担任等に任せられているようなことがあるとすれば、「学校における働き方改革」の足かせになるのではないのでしょうか。【荻原】			

令和5年度の取組状況等	教員及び児童生徒の一人一台端末の破損や故障が生じた場合は、各校から学校教育課宛てに「端末破損・紛失報告書」を提出してもらい、破損や故障した端末は教育センターに持参し、予備機と交換する流れになっております。そのため、教職員に負担をかけることなく、端末が破損した児童生徒にも、すぐに予備機を貸し出せるため、授業等への影響も最小限になるようにしてまいりました。今後も学習を止めることなく対応ができるように努めてまいります。
-------------	--

施策5 特別支援教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0105-01	2211-14	特別支援教育推進事業	学校教育課
構音障害の令和4年度当初開始児童数が61名、正しく発音できるようになり修了した児童が35名（目標値の65%）であり、「やや遅れている」との評価です。修了しなかった児童のその後の学校での生活への配慮や、この事業を活用・継続した指導がどのようなになっているのでしょうか。構音障害があると話の内容が相手に伝わりにくかったり、相手が話し手の音に不自然さを感じてしまい、コミュニケーションに支障をきたすことがあると理解しています。それが原因で「いじめ」の対象になるようなことがあれば憂慮すべき事態です。 別の視点ですが、特別な支援が必要な児童生徒が増加傾向にあると認識しています。特別支援教育を推進するにあたり、学校への人的支援や物的支援は必要不可欠です。加須市教育委員会としての取組はどのようなになっているのでしょうか。【荻原】			
令和5年度の取組状況等	年度内に修了しなかった児童については、次年度も継続して指導しております。今後も、児童がコミュニケーションをとる上で必要な力を身に付けられるよう、指導の充実に努めてまいります。 本市の特別支援教育を推進するにあたり、本事業において、障がい児介助員の任用や、特別支援学級の備品や消耗品の購入をしております。今後も、本市の特別支援教育の推進に向けて、人的支援や物的支援の充実に努めてまいります。		

施策6 学びを支える経済支援

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0106-03	2211-27	河野博士育英事業	学校教育課
新規採用数15人に対して、実績15人、100%達成は素晴らしいと感じます。 本事業については、広く生徒への周知が重要と考えます。中学校を通して、必要とする生徒に給与できるように続けてほしいと願います。【新井】			
令和5年度の取組状況等	引き続き、広く生徒への制度の周知に努め、適切に事業を継続してまいります。		

施策7 自立する力の育成

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-10	2211-22	学校グリーンカーテン事業	学校教育課
指標が「環境に興味・関心をもっている児童生徒の割合」になっていますが、アンケートを実施せずに、学校ファームでの栽培の実施やグリーンカーテンに取り組んだ学校や園数で評価するのはおかしいのではないかと思います。 また、予算措置がない事業のために、学校の負担になっていないか、栽培の実施やグリーンカーテンの実施にあたり一部の教員や管理職の負担になっていないかどうか心配です。【荻原】			
令和5年度の取組状況等	指標については、内容及び集計方法について、今後検討してまいります。グリーンカーテンや学校ファームについては、学校によって一部の学年や児童生徒が取り組んでいる場合もございます。 学校ファームの実施につきましては、JAより苗や種子の寄贈をいただいております。また、学校ファームの実施にあたり、学校応援団の方々に協力をいただいているケースもございます。学校の負担についても考慮しつつ、地域の協力を得ながら、子どもたちの活動の充実を図ってまいります。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-15	2211-18	中学生夢創造チャレンジ事業	学校教育課
評価「やや遅れている」は、評価としてはやむを得ないでしょう。実際は、新型コロナウイルス感染症対応で、職場体験学習もふれあい講演会も、十分に実施できなかったことが理由と考えます。 中学生や中学校にとっては、それぞれ、最も重要なキャリア教育の1つです。新型コロナウイルス感染症対応がなければ、必ず実施するものではないかと捉えています。【新井】			
令和5年度の取組状況等	今年度は、市内中学校8校全てで職場体験及びふれあい講演会を実施する予定となっております。 今後も中学校の進路指導・キャリア教育の推進に努めてまいります。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-15	2211-18	中学生夢創造チャレンジ事業	学校教育課
「ふれあい講演会」を実施しなかった学校の実施しなかった理由が、「新型コロナウイルス感染拡大防止」のためだったのか少々疑問が残ります。過去の私の経験から、講演者の人選に苦慮していた時期があったからです。もし、そのような理由から、実施しなかった学校があったとすれば、「市職員マンパワー活用事業」などを活用することを提案します。そのためには、市職員が講演者や講師として活用できる内容のリスト等を学校に提供しておくなどの工夫が欲しいと思います。【荻原】			

令和5年度の取組状況等	令和5年度については、「ふれあい講演会」を市内中学校8校中6校の実施いたしました。残りの学校につきましても、他の事業の中で講演会を行ったと報告を受けております。 令和5年度のふれあい講演会の講師を見ると、「銀行員」「お笑い芸人」「スポーツ選手」と様々であり、各校の特色が見られます。その中で、加須観光大使の活用が2校ありました。今後は、講演者の人選について、加須観光大使の活用をすすめてまいります。
-------------	---

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-16	2211-19	市職員マンパワー活用事業	学校教育課
評価「大幅に遅れている」は、新型コロナウイルス感染症対応によるものであり、理解できます。 そのうえで、今後のコロナ時代に対応したマンパワー活用を検討・実施したいものです。 ゼロ予算事業ではありますが、学校にとっても、行政にとっても効果が期待できる有効な事業と捉えています。積極的に各学校にPRして、事業の活用を図ってほしいと願います。【新井】			
令和5年度の取組状況等	各校の教育活動充実のため、教職員及び児童生徒を対象とした研修会や授業への支援は、効果的な取り組みであったと報告を受けております。今後、学校への周知を積極的に行い、事業実績を増やしていきたいと考えております。		

基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
—	—	基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します	学校教育課
学力向上と並んで、いじめ・不登校の問題は、学校教育のみならず社会全体でも大きな注目を受けています。各学校の御努力、加須市立教育センターを核とした御指導に感謝します。 不登校の子どもたちの学校復帰に向けた「学習室ピア」の役割は大変大きいものがあります。 いじめについては、認知件数にとらわれることなく、早期発見及び早期解消が重要かと思えます。いじめについても、事業や指標の中で評価できるようにしていただけたらよいかと思えます。 新型コロナウイルス感染症は、不登校についても大きな影響を及ぼしています。在家庭の期間が長くなった子どもでも安心して登校できるよう、一人一人の子どもに寄り添った支援をお願いしたいと思います。【新井】			

令和5年度の取組状況等	加須市立教育センターでは、令和5年度から「適応指導教室学習室ピア」から「加須学びサポート『ピア』」（通級による指導）と名称を変更しました。また、新しく「加須学びリンク『ピア』」（オンラインによる指導）を開始し、学校や通級に通うことができない子ども、つまり在家庭の期間が長くなりひきこもり状態にある子どもを対象とした支援を行っています。現在は、中学生のみの実施ですが、対象を広げることも視野に入れております。 いじめについては、早期発見及び迅速な初期対応を重視し、適切な対応ができるようにしてきます。また、実際の数値を示し、評価できるようにしていきたいと考えております。
-------------	--

施策1 いじめ対策の充実

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0201-01	2212-01	いじめ・不登校対策事業	学校教育課
学校現場において、学力向上と並んで重要視している課題が「いじめ」や「不登校」です。 新型コロナウイルス感染症の影響は、大きく不登校に影響していると言えます。 教育センターとの連携において、学校復帰を果たした児童生徒の数や効果的な指導法を周知したり広めたりすることのほうが重要であると捉えますがいかがでしょうか。 また、この事業の評価指標について、いじめについての記載がないことがよく分かりません。令和3年度と令和4年度のいじめの現状を確認したいし、そのことも評価に反映すべきであろうと考えます。いじめの認知数と解決数は重要な教育課題の1つであると考えます。【新井】			
令和5年度の取組状況等	新型コロナウイルス感染症が、不登校に対して影響を与えたことは間違いないと思います。コロナ禍前の令和元年度の不登校数は、小：22名、中：74名に対し、令和5年度は、小：54名、中：209名であり、過去最多となりました。 ご指摘の通り、増加する不登校数ばかりにとらわれるより、効果的な指導法に目を向ける必要があります。各学校の事例を集め、検証するとともに、それらを周知してまいりたいと思います。 各事業の指標は1つとなっており、いじめ・不登校対策事業では、不登校を指標としています。いじめについては、別記することで状況をお伝えしてまいります。なお、令和3年度は、小：62件（解消45件）、中：20件（解消16件）、令和4年度は、小：47件（解消32件）、中：17件（解消11件）、令和5年度は、小：79件、中44件となっております。認知件数は増加したものの、解消率は前年度に比べて、小+1.5%、中+5.8%と伸びております。これは各校がアンテナ高いいじめを認知し、解消に向けて取り組んだ結果でございます。今後も解消してないものにつきましては、引き続き指導を行ってまいります。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0201-01	2212-01	いじめ・不登校対策事業	学校教育課
事業名が「いじめ・不登校対策事業」であるのに、指標が「不登校児童・生徒の割合」だけであるのは違和感があります。「いじめの実態等」の指標が必要ではないでしょうか。 「コロナ禍を経て、児童生徒、保護者の学校を休むことへの意識が変化している・・・」と記載されていますが、どのような変化なのでしょう。大変気になるところです。教育基本法第2条「教育の目標」、学校教育法第21条「普通教育の目標」を達成するためには、学校という社会の中で児童生徒が生活することが基本にあると考えるからです。学校や教育委員会は、学校教育の根幹に関わる保護者の間違った意識の変化があるとすれば、それを正す方策を講じることが必要であると考えます。【荻原】			
令和5年度の取組状況等	各事業の指標は1つとなっており、いじめ・不登校対策事業では、不登校を指標としています。いじめについては、別記することで状況をお伝えしてまいります。なお、令和3年度は、小：62件（解消45件）、中：20件（解消16件）、令和4年度は、小：47件（解消32件）、中：17件（解消11件）、令和5年度は、小：79件、中44件となっております。認知件数は増加したものの、解消率は前年度に比べて、小+1.5%、中+5.8%と伸びております。これは各校がアンテナ高いいじめを認知し、解消に向けて取り組んだ結果でございます。今後も解消してないものにつきましては、引き続き指導を行ってまいります。 コロナ禍における休校や、本人や家族の体調不良による自宅待機により、学校を欠席することへの抵抗が薄れてきていると分析しております。また、家庭の学校への無理解や教育への関心の薄れなどの実態も見られます。保護者には、子どもに教育を受けさせる義務があるということを改めて認識できるよう、啓発活動を実施しできるように検討してまいります。		

施策2 幼児教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0202-01	2212-02	教育センター運営事業	学校教育課
教職員にとって有意義な研修会が実施されたことは素晴らしいと思います。 教育センターでは上記の「いじめ・不登校対策事業」とも考えられる「適応指導教室」の運営や「教育相談」等も行われ多くの実績を残していると認識しております。大変素晴らしいことです。関係者の努力に敬意を表します。 一方、これらの事業を円滑に進め、いじめ・不登校対策に結びつけるためには、教育センターと学校の連携が不可欠です。特に管理職がその認識を持ち、実際に行動することが重要であると考えます。【荻原】			

令和5年度の取組状況等	令和4年度は15の研修会の実施、令和5年度も15の研修会の実施を行いました。令和5年度は「不登校対策」を重視し、校長研修、教頭・主幹研修において研修議題とさせていただきました。 ご指摘の通り、教育センターと学校の連携は重要です。現場の先生方に教育センターを知り、活用していただくために、「教育センター紹介動画」を作成し、校長会、教頭会で紹介させていただきました。また、SSWによる全学校訪問を実施するとともに、教育センターのチラシを新しく作り、各学校に配布しました。今後は、SC、SSWの積極的活用等を行いながら、より具体的な行動ができるように検討してまいります。
-------------	--

基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
—	—	基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します	学校給食課
物価高の折、給食費の値上げをせずに、安全・安心でおいしい給食を提供いただき、感謝申し上げます。 そのうえに、保護者の経済的負担を考慮した一時的な免除は、行政の御努力であるとお礼申し上げます。 給食費収納率99.99%も、保護者、学校、行政が一体となった成果と捉えております。【新井】			
令和5年度の取組状況等	国が創設した新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、就学前の子どもに「ちょこっとおたすけ絆サポート券」を配布するとともに、市内小中学校に通う児童・生徒の学校給食費を、令和5年7月から12月の8月を除く、5箇月間の一時免除を行いました。 また、物価高騰により、学校給食の食材価格への影響が出ている中、保護者負担を増やすことなく、賄材料費への支援を行いました。 引き続き、栄養バランスや量を確保した学校給食の提供に努めてまいります。 今後も収納率向上に向けて、しっかりと収納対策を行ってまいります。		

施策1 安全・安心な給食の提供

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0301-01	2213-01	給食センター管理運営事業	学校給食課
児童生徒に、安全・安心でおいしい給食を提供していることに感謝したいと思います。 事故なく提供できている点は、当たり前とカタづけてしまいがちですが、このことは大きな成果であると捉えています。 さらに、給食センターが学期ごとに、児童生徒に給食に関するアンケートを実施し、学			

校栄養士を中心として、給食の改善に日々取り組んでいることにも、ぜひ、目を向けたいと思います。

令和４年度は、給食費の一時免除期間を設けるなど、保護者は経済的にとてもありがたかったに違いありません。

給食食材の高騰にもかかわらず、給食費を値上げせずに対応している御苦勞にも改めて感謝したいと思います。【新井】

令和５年度の取組状況等	令和４年度からアンケートを学期ごとから年１回に変更し、児童・生徒と同様に保護者にも調査を行っております。結果から得られる給食の嗜好傾向、残食の原因、家庭における給食についての考え方等をもとに、これからの給食のあり方を検討してまいります。 令和５年度も、７月から１２月の８月を除く、５箇月間の一時免除を行いました。 また、給食費の値上げをせずに栄養バランスや量を確保した給食を提供できるよう賄材料費の支援を行いました。
-------------	---

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0301-02	2213-06	給食費収納対策事業	学校給食課
現年度収納率 99.99% は、保護者、学校、行政の協力した成果であると思います。令和３年度の収納率 99.98% も素晴らしいですが、それを上回った実績です。 【新井】			
令和５年度の取組状況等	令和５年５月３１日現在、令和４年度未納分は、６件、２２，８００円でしたが、令和５年６月１４日で完納となりました。 引き続き、学校と連携し、しっかりと収納対策を行ってまいります。		

施策３ 健康の保持増進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0303-01	2213-02	小学校健康推進事業	学校教育課
0303-02	2213-03	中学校健康推進事業	
児童生徒のう歯治療率 86.6%、91.9% は、保護者、学校、教育委員会の努力の成果と評価します。 しかし、治療勧告を受けても治療を行わない児童生徒がまだいる実態があります。この問題は本人というより家庭環境等に課題がある場合がほとんどであると考えます。う歯治療率、う歯保有率を生徒指導にも是非活用してください。【荻原】			
令和5年度 の取組状況等	ご指摘をいただいたとおり、児童生徒のう歯治療率は家庭環境等の影響が大きく反映されております。今後も家庭への指導を継続して行っていくとともに、児童生徒が自らの身体に関心を持ち、健康な生活を営むための態度を育成できるよう、各校に必要な情報を提供してまいります。		

基本目標 4 質の高い教育のための環境づくりを推進します

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
—	—	基本目標 4 質の高い教育のための環境づくりを推進します	教育総務課 学校教育課 こども保育課
トイレの改修、不動岡小の大規模改修、ICT支援員の配置など環境面の支援について、感謝申し上げます。 市立幼稚園につきましては、補助員の配置など業務改善に取り組んでいることが理解できました。【新井】			
令和5年度 の取組状況等	【教育総務課】 施設整備につきましては、学校施設長寿命化計画に基づき、また社会のニーズに注視し優先順位を見極めながら、引き続き教育環境の改善に努め進めていきます。 【学校教育課】 今後も引続き、適切なICT支援員の配置に努めていきます。 【こども保育課】 今後も適切な補助員の配置等、業務改善の取り組みに努めていきます。		

施策 1 安全で安心な教育環境の整備

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0401-03	2141-01	公立幼稚園管理運営事業	こども保育課
実績値で目標を上回ったことに、現場の幼稚園やこども保育課の御努力に感謝申し上げます。【新井】			
令和5年度 の取組状況等	今後も、各園の教育方針や幼稚園教育への理解を深めていただく手段として、チラシやHPの他、SNS等を活用して保護者や地域に周知してまいります。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0401-07 0401-08	2214-04 2214-05	小学校施設整備事業 中学校施設整備事業	教育総務課
家庭のトイレがほとんど洋式化し、さらに温水洗浄便座になっている中、学校のトイレだけ取り残されている気がします。トイレ改修、トイレ洋式化、温水洗浄便座の導入を強く要望します。 また、LGBT等への対応も含めて、男子用のトイレの個室化も要望します。【荻原】			
令和5年度 の取組状況等	学校校舎のトイレ洋式化は、令和3年から4年にかけて、原則各トイレの和便器を1基残して、そのほかを洋式化にする方針のもと整備を進		

	めました。また、学校施設長寿命化計画に基づき進められる大規模改修工事では、トイレの全面改修を進めており、乾式化、洋式化、暖房便座の採用のほか、だれでも使用できる多目的トイレの設置を進めています。温水洗浄便座の採用は、維持管理や近隣自治体の状況を注視しながら研究します。
--	---

基本目標 5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
—	—	基本目標 5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します	学校教育課
達成度評価が「達成できなかった」となっていますが、新型コロナウイルス感染症による影響と考えます。 あいさつ運動につきましては、駅での活動などが新型コロナウイルス感染症対応で難しい中、各学校や園で実情に応じた取組が実践されたことをうれしく思います。【新井】			
令和 5 年度の取組状況等	今年度は、学校におけるあいさつ運動や学校応援団の方々の活動も活発になっております。あいさつ運動の駅キャンペーンも復活し、5 月には加須駅、花崎駅で実施しました。10 月には、加須駅、花崎駅、柳生駅、栗橋駅において駅キャンペーンを行う予定です。		

施策 1 学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-02	2215-02	地域密着型教育広報事業	学校教育課
パネル公開について、今後も、十分に実施していただき、学校等の情報を広く市民や地域に周知することは重要であると捉えています。【新井】			
令和 5 年度の取組状況等	今後も継続して各校のパネル掲示を行い、市民や地域に各校の情報を提供していきます。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-03	2215-06	あいさつふれあい推進事業	学校教育課
新型コロナウイルス感染症による影響が大きいというなかで、本事業が「あいさつふれあい」の大切さを各学校が十分に理解し、工夫して各幼稚園・学校で実施されている点が素晴らしいと考えます。コロナ時代においても、やらなくてはならないことをしっかり実施したということです。 令和 3 年度は、幼稚園・学校によって、青少年健全育成関係団体の応援もいただいたり、保・幼・小・中が協力したりして、あいさつ運動を実施しているところもありましたが、令和 4 年度も同様と思われます。 駅や街頭での「加須市あいさつ運動」は、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら			

実施できればよいので、まずは、各幼稚園・学校が、実情に応じてあいさつ運動を実施することが大切であり、工夫して実施できたとすれば、素晴らしいと考えます。【新井】

令和5年度の取組状況等	令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、コロナ禍前に戻す形で、各園・各校においてあいさつ運動に取り組んでいただきました。
	令和6年度も「加須市あいさつ運動キャンペーン」を加須市民平和祭、市民まつり、駅の街頭キャンペーンを前期（5月）2駅（加須駅、花崎駅）、後期（10月）4駅（加須駅、花崎駅、柳生駅、栗橋駅）にて実施する予定です。青少年健全育成団体の協力をいただくとともに、市役所新人職員と協働して実施してまいります。
	今後は、引き続きあいさつ運動強化期間を設けて実施するとともに、学校だけでなく、加須市全体としてあいさつ運動をさらに盛り上げていきたいと考えております。

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-09	2215-08	通学路安全対策事業	学校教育課
全国で、子どもたちが巻き込まれた交通事故が多発しています。本事業は、子どもたちの安心・安全に直結した通学路の整備が主たる目的となっています。 まず、令和4年度も「目標を達成」は大きな成果であると言えます。令和3年度、各学校は、千葉県の事故を受け、通学路の総点検を再度行って、改善要望を出しました。その対応が100%でした。令和4年度も100という実績（改善要望に100%対応できた）は満足できると思います。 執行率99%も充実した事業の証と捉えることができます。ありがとうございました。 【新井】			
令和5年度の取組状況等	「安心、安全なまちづくり」は本市の重要課題であります。今後も引き続き、通学路安全対策事業を活用し、子どもたちが安全に、安心して登下校できるように努めてまいります。		

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
—	—	基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります	生涯学習課
達成度評価「達成できなかった」となっていますが、新型コロナウイルス感染症による影響であり理解できます。 各事業の実績をみると、目標値には及ばないために、評価が「やや遅れている」「大幅に遅れている」になってしまっていますが、令和3年度の実績と比べて、2倍あるいはそれ以上という事業も多くなっています。令和3年度「0」だったものが、実績を上げている事業もあります。御努力に敬意を表したいと思います。			

引き続き、新型コロナウイルス感染症対策など、非常時を想定して、開催方法を工夫するなど芸術・文化の振興を図っていただきたいと思います。【新井】

令和5年度の取組状況等	新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症となり、市民の安全が確保されてきました。生涯学習団体活動が高齢化による活動の鈍化や活動休止状態から思うように回復しなかったために、前年度よりは実績が上がったものの、目標達成には至りませんでした。 また、ミドル世代への講座やイベントの参加率を高めるための企画を検討し次年度実施できるように努めてまいります。 文化振興事業については、文化団体の高齢化が顕著であり、単独イベントには集客に限界があるため、地区文化祭や地域文化祭の実施方法など、老若男女が集まる方法を検討してまいります。
-------------	---

基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくれます

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
—	—	基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくれます	スポーツ振興課

達成度評価「やや達成できなかった」とありますが、新型コロナウイルス感染症による影響と考え、理解できます。

加須こいのぼりマラソン大会の3年ぶりの開催に合わせて、個人的ではありますが、初のハーフエントリー、完走という思い出をつくることができ、感謝しております。私自身、運営に携わったことはありますが、参加者としては初めてでした。スタッフ、関係職員、ボランティアの皆様には当日の運営はもちろん、計画段階から後片付けまで大変だったろうなと思いますし、感謝でいっぱいです。沿道の応援の皆様にも温かな声援をいただき、力となりました。

参加した多くの皆さんが自分と同様の感想をもっていると思います。

今後も、全国規模の大会を含め、元気な市民と活力ある加須市の創造に向けて、御尽力くださいますよう、よろしくお願いします。【新井】

令和5年度の取組状況等	スポーツ協会やスポーツ少年団、レクリエーション協会と連携し、加須こいのぼりマラソン大会をはじめとした全国規模の大会を開催し、市民のスポーツ・レクリエーションへの関心を高める取り組みを進めてまいります。
-------------	---

施策 1 スポーツ参画人口の拡大

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0701-15	2411-15	総合型地域スポーツクラブ育成事業	スポーツ振興課
中学校部活動の地域移行について、国では、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（令和4年12月）」によると、「地域の実情に応じ、関係者の理解の下、できるところから取組を進めることが望ましい。」とし、令和5～7年度を「改革推進期間」と位置づけています。 これらを受けて埼玉県では、「埼玉県地域クラブ活動の整備・充実に係る指針の策定に向けた基本的な考え方（方針）」について（令和5年7月）」によると、「地域クラブ活動を段階的に整備・充実することにより、中学校部活動や習い事に加えて、生徒が多様なスポーツ・文化芸術活動を自ら選択できる環境を提供する。まずは、休日は地域クラブ活動を基本とし、平日は学習指導要領の趣旨を踏まえ、中学校部活動を継続する。」とし、令和5～7年度を「活動環境整備期間」と位置づけています。 次に、「各市町村が、休日の地域クラブ活動の実証事業を行い、活動環境の整備を進める。」とし、令和8～10年度を「活動環境定着期間」と位置づけています。 さらに、「各市町村が、地域の実態に応じて、休日の地域クラブ活動を段階的に拡大し、定着を図る。」としています。 加須市教育委員会では、中学校部活動の地域移行について、学校教育課が所管して事業を進めていると聞いていますが、学校教育課のみが、あるいは教育委員会のみが所管して進められる事業ではないと考えています。市全体の取り組むべき事業として進めていくことが重要だと考えます。 「総合型地域スポーツクラブ育成事業」が、中学校部活動の地域移行の一翼を担う役割として、進行していくことを期待します。 この事業の「分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等」欄にも記載されていますが、平成国際大学との連携・協力についても前向きに進めることを期待します。【荻原】			
令和5年度 の取組状況等	中学校部活動の地域移行の受け皿としても総合型地域スポーツクラブの育成は必要であると存じております。 平成国際大学が運営主体となる総合型地域スポーツクラブの設立に向けた支援を行ってまいります。		

6 学識経験者の意見

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項」の規定に基づき、教育に関する学識経験を有する方の知見を活用するため、令和5年度の取組状況について、元大桑小学校校長新井信男氏及び平成国際大学特任教授荻原孝之氏からご意見をいただきました。

(1) 新井信男氏

① 評価に関する全体的な意見

特に各事業の指標については、その事業の本質を捉えているかというとなかなか難しいと感じます。そもそも数値化することが難しい教育分野において、指標を設定すること自体に無理があると捉えることもできていると思っています。そして、1つの指標だけで事業全体の目的、目標、実績、評価などをすることにも大きな無理があると感じます。例えば、No26「いじめ・不登校対策事業」については、不登校だけが指標になっています。この指標で目標・実績・評価・分析するのはいかがなものかということです。指標が2つ設定できればよいのですが、指標が1つしか設定できないのであれば、事業を「いじめ」と「不登校」に分けるなどの対応が必要でしょう。

そのような中でも、本報告書は、93事業に対して109の指標を設定し、それに対する取組内容や評価に対する分析が具体的に記載されており、全体的には概ね納得できる内容であると感じています。事務局の取組に感謝申し上げます。

基本目標の達成度評価については、93事業109指標について、大きく分けると61指標55.9%が「目標を達成」「概ね達成」と効果を得ることができ、48指標44.0%が「やや遅れている」「大幅に遅れている」となっています。

令和5年度は5月にコロナが5類に移行したところです。令和3年度、4年度の直接的なコロナの影響に比べると、少しずつ、コロナ前に戻りつつあると感じています。しかしながら、5類に移行したとは言っても、新型コロナウイルス感染症への対応がなくなった訳ではなく、事業の具体的な取組が十分にできなかったところが多くあったと思われます。事務局各課においては非常にご苦勞が大きかったと推察します。そして、コロナ時代のノウハウや反省を受けて、できるだけ対応が見られ、アフターコロナ時代として、どうしていくかという姿勢が感じられました。今後もコロナに限らず、さまざまな感染症や災害など緊急事態に応じた事業の取組について、先を見て、予見しておくことが大切であると考えます。

また、学校現場は「学校の働き方改革」が重要な課題となっています。あれもこれも学校でと言われてきたことの反響として、社会的に見直しが必要だと言われているように感じます。教育に関する各事業が成果を上げることによって、学校や教職員の負担軽減を図ることができ、さらに各事業が充実、発展すれば子どもたちや市民に対して適切な支援が実現し、保護者や市民の願いに寄り添うことができると期待しております。

いずれにしても、令和5年度の点検評価は大切ではありますが、そのことをどのように今後に生かすかが重要であり、評価のみに一喜一憂することなく、教育委員会事

務局として加須市のこどもたち、市民の将来を考えて、具体的かつ効果的な取組を着実に実践されることを望みます。

② 各事業についての意見・感想

基本目標１ 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

1人1台の学習用端末を文房具のように扱える児童生徒の育成を目指してと、文頭にありますが、現実的に着実に近づいていると実感しています。それも、ICT教育の推進について、加須市が大変積極的な取組をされ、その成果が表れているという証だと思えます。

令和5年度は、学校と家庭の学習の連続性が図られて、学習用端末が一層活用されたことが最大の成果であったと感じています。

8校の学校研究指定、オンラインミニ講座「加須学びDX」、「加須市チャレンジシート」の提供とCBTでの実施、「加須まなびTime」の実施、加須市教育課程検討委員会での協議などにより、確かな学力の向上を目指すことができたと思えます。

また、人的な支援としても、教育活動支援員の配置、少人数指導やTTの実施、スクールサポーターの配置などにより、学校の働き方改革を通して、学力向上が図られたと思えます。今後も人的な支援として100%配置の実現を目指していただきたいと思えます。

ハードとソフトの両面から、学校現場を支援することで、こどもたち一人一人の自ら学ぶ力と確かな学力について向上を図っていただきたいと考えます。

施策1 幼児教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0101-02	2131-16	幼稚園預かり保育事業	こども局こども保育課
加須市の幼児教育は、埼玉県内はもとより全国に誇れるものです。日頃の幼稚園における保育は、伝統に裏付けされた教育方針に基づき、各先生方が大変よく工夫されていて、保護者・地域からの信頼も大きいということが出来ます。 本事業の預かり保育についても、コロナ時代以降、保護者のニーズが高まっているなかで、各園が工夫して、質の高い預かり保育を実施できています。11園で希望者全員（延べ7345人）の預かり保育が実施できたことは高く評価できます。 さらに、多様化する保護者のニーズにいかに応えるか、安心・安全な保育をいかに実現するか、保育者の確保と併せて、ご努力いただきたいと思えます。			

施策2 一人ひとりを伸ばす教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-01	2211-05	少人数学級推進事業	学校教育部学校教育課
本事業の指標は、教育活動補助員の配置状況となっています。 こどもたちへのきめ細かな支援のためにも、「学校における働き方改革」を推進するた			

めにも、現場で働く教員一人一人の業務量の削減が大変重要です。そのための教育活動補助員の人的配慮は最も効果的な方策であると考えます。

教育活動補助員は、教員免許状を有し、経験豊富な教員であることが多いため学校にとっては、大きな戦力であり、それは、こどもたちに大きな有益となります。予算確保と共に、優秀な人材を適材適所に配置できる重要な事業であり、拡大を強く望むところです。

13人配置が必要なところ、12人の配置という状況ですが、ぜひ、100%の配置をお願いしたい。また、配置だけでなく、指導主事が訪問して適切な運用がなされているかを確認・指導していることは続けてほしいと願います。

さらには、小学校1クラス児童31人以上、中学校1クラス39人以上という基準の見直しを進め、少しでも児童・生徒を多くの教員で支援できるように改善・実施してほしいと願います。そのことが児童生徒の学力向上や心の教育の推進に直結すると強く感じています。

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-02	2211-11	学力アップ事業	学校教育部学校教育課

指標が県学調の県平均正答率と市平均正答率の比較となっていることで本当に学力アップと言えるかどうかを考えていただきたいと思います。

指標がすでに決められており変更ができないことは承知していますが、こどもたちの学力は、県学調をとってみてもいわゆる教科の点数の結果だけではなく、質問紙調査や非認知能力の結果についても含めて評価したいものです。例えば小学校の児童の学力は、国語と算数の点数だけで語ってよいものでしょうか。仮にその点数にしてもこどもたちの学力の伸びとして、評価することが重要であると考えます。単なる平均正答率の比較では、こどもたちの学力の向上を評価することはできないと考えます。

学力は、児童生徒一人一人の伸びとして捉えることが大切です。その学力の伸びが、県学調の結果には明確に示されているので、県と市で比較することができます。平均正答率のみに左右されるのではなく、加須市のこどもたちの学校生活における学習への取組実践や意欲・態度は、県と比較して上回る項目が多くあることを評価したいものです。学力の3要素は、基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度です。点数や平均正答率のみで学力は測れません。

指標の見直し・変更を強く望みます。

そこで、4つの疑問があります。一つ目に、県学調との平均正答率の比較では「やや遅れている」との評価ですが、児童生徒の一人一人の伸びとしてみたときは、県全体と比べてどうなっているのでしょうか。

二つ目に、県学調や全国学テの質問紙調査の結果が、どうなっているのでしょうか。

三つ目に、令和5年度に実施したCBTによるチャレンジテストや加須市「学力分析シート」による成果はどのようになっているのでしょうか。

四つ目に、中学校における「加須学び Time」の実績はどのようになっているのでしょうか。

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
2211-12	0102-03	小学校英語教育推進事業	学校教育部学校教育課
2211-13	0102-04	中学校英語教育推進事業	

中学校の英語の学力検査の点数だけで言えば、加須市は課題があると言えます。しかし、本事業の指標は学力アップ事業と違って、点数でないところが重要かと考えます。

指標が、小学校は外国語の目標を概ね達成した児童の割合及び楽しいと感じている児童の割合、中学校は英検３級程度の英語力を有する中学校３年生の割合となっていますが、指標の設定は適切であると捉えます。

また、実績として、小学校の外国語活動指導助手とのＴＴ実施が目標通り時間数として確保されている点を評価したいと思います。

さらに、教師の指導力向上を図ることで、児童の外国語活動の力を向上させていただきたいと考えます。

また、中学校において、英語教育研究員がすべての中学校に学期２回訪問することやイングリッシュサマーキャンプというところが素晴らしいと思います。このことは、全国でも数少ない例として、加須市の特色ある取組、誇れる取組の１つだと高く評価できます。

本市の英語教育研究員は、英語がネイティブであることはもちろん、日本文化や日本の教育についても精通しているというよさを今後も生かしていただきたいと思います。そして、英語への関心が高まる中、本事業の意義と実績を保護者や市民に広く知らせていただきたいと思います。

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-05	2211-20	サイエンススクール事業	学校教育部学校教育課
まず、この事業の実績について、令和４年度６９「やや遅れている」であったものが、令和５年度９１「概ね達成」となったことが高く評価できると思います。コロナにより実施できなかった本事業が、昨年度から再開され、令和５年度は「未来館学習に興味・関心をもつ」ことができるようになり、喜ばしいことです。 こどもたちの理科離れが叫ばれる昨今において、加須未来館という素晴らしい施設をぜひ有効に活用していただきたいと感じます。加須未来館学習＝サイエンススクールは、全国に誇る本市教育の特色です。ぜひ、ＰＲに努めていただきたいと思います。			

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-08	2211-32	生徒派遣援助事業	生涯学習部教育総務課
事業の概要は、全国大会に出場する選手の派遣費補助を行うことです。指標が交付件数となっているため、評価は「やや遅れている」となっていますが、交付件数ではなく、そのときの選手の派遣に対する補助の割合とすべきではないでしょうか。当該生徒の交通費、宿泊費、参加費、その他等、全国大会出場に係る費用の援助の割合を指標とすべきではないでしょうか。もちろん、１００％が目標値になります。			

令和５年度は、関東大会・全国大会に出場した８件、１５人全員に派遣費を補助し、自己負担がないようにできたところは、高く評価できます。事業として目的は達成できています。

施策３ 教職員の資質能力の向上

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-01	2211-08	学校訪問指導事業	学校教育部学校教育課
本事業の趣旨は、学力向上に直結する教師の指導力向上であり、学校訪問による指導は大変重要です。その訪問指導の際に、調査の分析結果に触れながら授業改善に向けた指導をしていることは大変重要だと思います。 幼稚園・学校訪問は、指導主事等の重要な職務と捉えています。今後も訪問指導を工夫していただきたいと思います。 そうしたなかで、指標１については、これまで述べたとおりです。平均正答率の比較で学力は図れません。 指標２については、目標値に対して大きく上回った実績は素晴らしいと感じます。学校訪問の重要性を学校教育課も学校現場もよく認識されているということが反映されていると思われます。今後も、教員が実際に授業を行い、それを指導主事が参観して指導するという訪問スタイルを続けていただきたいし、さらなる工夫（時間と労力によらない学校訪問）を考えていただければと思います。			

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-02	2211-07	学習指導改善研究事業	学校教育部学校教育課
学力の捉え方と指標の関係について、検討が必要ではないかと考えます。加須市として、学力をどう捉えるのか、学力や学力の伸びを何で測るのか、根底を確認していただきたいと思います。 幼稚園、小中学校における学習指導は、学力向上のみならず、学力を含めた知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成が目的となります。そのために、本事業の趣旨である指導改善・研究は、大切なことであると考えます。 指標の数は２つに限定されているのですが、体力を取り入れたのは意義深いと考えます。 一方で、実績として体力の値が年々低下している原因、対策は検討されているのでしょうか。やや気になるところです。 さらに「徳」をどう評価するのか、検討してほしいと考えます。 研究委嘱のテーマには、学習指導のみならず、生徒指導や心の教育、体力向上や食育などもあるので、この事業の本質がそこにあるように感じます。			

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-04	2211-16	社会科副読本資料作成事業	学校教育部学校教育課
社会科副読本「かぞ」は、郷土「加須市」を愛する児童の育成を目指す重要な教科書と言ってよいと思われます。作成委員は、経験と力量のある優れた教員が本来業務のほかに時間を費やして、研究し、作成しているということを知らせたいと感じます。3年に1度の改定ということも、「生きた教材」として、変化の激しい時代をよく反映できているものです。 そのような中、よい副読本や資料を作成しても、活用されなくては意味がないと思います。具体的に、活用されてこそ成果が上がります。評価テストは点数を比較するのではなく、学力向上の策となっているとして、継続していただきたいと思います。 そして、7年度の改定に向けた準備をしっかりとお願いしたいと思います。			

施策4 ICTを活用した教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0104-01	2211-09	学校ICT教育活用事業	学校教育部学校教育課
本事業は、学力向上策のなかで最重要課題の1つであると捉えています。GIGAスクール構想から始まり、DXと本事業への期待は社会的にも高まっています。 また、今後も学校教育においても重要な役割を担う事業となります。その事業において、目標を概ね達成できていることは、所管課の御尽力に感謝したいと思います。 そのなかで、ミニオンライン研修会「かぞ学びDX」の内容と成果について具体的に伺いたいと感じます。 そして、教職員の情報活用能力を育成するために、学校教育課の指導主事や教育センターの職員による支援や研修、企業の支援員によるサポートは大変効果的でした。 さらに、新たな取組として、タブレットの持ち帰りを可能としたが、成果と課題を知りたいと思います。 今後も、予算も多く必要とする本事業の目的が十分に達成できることが重要であると考えます。			

施策5 特別支援教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0105-01	2211-14	特別支援教育推進事業	学校教育部学校教育課
小・中学校において、これまでの知的障害や情緒障害等を支援することだけでなく、通常学級に在籍するいわゆる発達障害のこどもたちをいかに支援していくかは、すべての学校において大きな課題となっています。本事業の対象となる児童生徒の範囲を明確にしておきたいと考えます。 全国的に、特別支援学校の在籍数も増加傾向にあるとともに、特別支援学級や通級指導教室を希望する児童生徒も増加しています。それだけ、特別支援教育が保護者に受け			

入れられているということです。

特別支援学級に在籍する児童生徒数や通級指導教室に通う児童生徒数の増加を考慮して、本事業をさらに推進してほしいと願います。

指標になっている「ことばの教室」は、本市が力を入れている特別支援教育の1つであり、特色とも言えます。通常学級に在籍する児童に対する特別支援教育の意味を示す上でも理解はできます。

ただ、ことばの教室修了のみを指標とすることで本事業全体の評価とすることには疑問が残ります。分析の中にもあるとおり、ことばの教室へ通うこどもたちの実態はさまざまであり、修了するまでの期間もさまざまです。このことを評価として、事業がやや遅れていると言うのはやや的外れであると感じます。

本事業のなかで、障害児介助員の配置については、通常学級や特別支援学級の実態と照らして十分に満足できる状況にあるのでしょうか。

また、就学相談などで、通級指導教室「適」と判断され、保護者や本人のニーズがある児童生徒は、100%通級が実現できているのでしょうか。

施策6 学びを支える経済支援

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0106-03	2211-27	河野博士育英事業	学校教育部学校教育課

実績100%達成の継続は素晴らしいと感じます。

本事業については、広く生徒、保護者への周知が重要と考えます。中学校を通して、必要とする生徒に給与できるように続けてほしいと願います。

応募枠以上の募集が集まったという点で、広報活動が充実していると感じます。

施策7 自立する力の育成

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-04	2211-17	防災教育推進事業	学校教育部学校教育課

東日本大震災から10年以上が経過し、能登半島地震もあったことなどを考えると地震や津波に対する防災教育は改めて重要視しなくてはならないことです。さらに、最近のゲリラ豪雨や突風、台風の大規模化・強力化などの風水害に対する防災教育は、本市にとっても喫緊の課題であり、本事業の意義は大きいと考えます。評価についても素晴らしいと言えます。

指標になっている「加須市防災教育指導資料」の活用を今後も十分に図っていただきたいと願います。本資料は、学校及びこどもたちにとって、大変よい資料です。

さらに、本指導資料や防災ノートを活用した授業は具体的にどのくらい実践されているかも確認したいと思います。

これからは、自治体などの地域が中心となった自主防災システムの構築が重要と言われています。そのなかでも、中学生などはよい働き手となりうると期待しています。

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-10	2211-22	学校グリーンカーテン事業	学校教育部学校教育課

まず、興味・関心をもっている児童生徒の割合という指標に対して、実績が「一」である理由を伺いたいと思います。

分析にある「すべての幼小中で学校ファームを実施、22小中学校、11園でグリーンカーテンに取り組めた」ということは、高く評価できると思います。

本来の事業の目的は、グリーンカーテン設置なのでしょうか。それとも、環境教育推進なのでしょうか。個人的には、本事業は、環境教育推進となるべきと捉えるので、グリーンカーテンを実施するだけでなく、かなり広範囲にはなりますが、環境教育を踏まえたSDGsとして改善すべきではないかと考えます。

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-15	2211-18	中学生夢創造チャレンジ事業	学校教育部学校教育課

令和4年度評価は「やや遅れている」でありましたが、今年度「概ね達成」となったことを喜ばたいと思います。

これまでのコロナ対応により、職場体験学習の実施は困難な状況から、少しずつ改善されたとみてよいのではないのでしょうか。ふれあい講演会も、ほとんどの中学校で実施されたとのことで喜ばしいことと捉えます。

中学生にとっては、キャリア教育は大変重要です。今後も予算措置を含め、事業の充実を図っていただきたいと思います。

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-16	2211-19	市職員マンパワー活用事業	学校教育部学校教育課

昨年度の評価「大幅に遅れている」から、やや上向きになったかと思われます。これも、コロナ対応によるものであり、ある程度は理解できます。

そのうえで、今後のアフターコロナ時代に対応したマンパワー活用を検討・実施したいものです。

ゼロ予算事業ではありますが、学校にとっても、行政にとっても効果が期待できる有効な事業と捉えています。積極的に各学校にPRして、事業の活用を図ってほしいと願います。

基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します

いじめ・不登校の問題は、学校教育のみならず社会全体でも大きな関心を集めています。教育委員会事務局、各学校のご努力、加須市立教育センターを核としたご指導に感謝します。

不登校のこどもたちの学校復帰に向けた「加須学びサポート『ピア』」の役割は大変大きいものがあります。オンライン学習支援「加須学びリンク『ピア』」、不登校児童交流の場「加須ステップ『ピア』」の運営は、新たな取組として、今後の成果を期待す

るところです。

いじめの撲滅、不登校の解消については、一朝一夕に解決することではありません。事業の継続が重要かと思われます。少しでも、学校や子どもたちへの支援を続けていきたいと思ひます。

また、人権教育推進についても、豊かな心の育成の一つとして充実を図っていただけたと感じます。

施策1 いじめ対策の充実

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0201-01	2212-01	いじめ・不登校対策事業	学校教育部学校教育課
昨年度の評価が「やや遅れている」から今年度「大幅に遅れている」となったことを、大変心配しております。 学校現場において、学力向上と並んで重要視している課題が「いじめ」や「不登校」です。 不登校児童生徒の割合が高くなっているため、評価「大幅に遅れている」は納得できますが、事業の成果としての分析をしていかななくてはと感じます。なぜ、不登校が増えているのか、その対策と対応はどうするのかを研究することが大切であると言えます。 児童生徒の割合は、出現率として重要であります、新規の不登校なのか、継続された不登校のなのかによっても対応は全く異なります。細かく見ていく必要があると思われます。 さらに、不登校が解消した割合は上がっているのでしょうか。 理由として「無気力」が多いことの原因をどのように捉えているのでしょうか。 そのうえで、指標は、不登校の出現率でよいのでしょうか。 そして、不登校児童生徒の割合を「0」とする目標は、現実的ではないと捉えますが、いかがでしょうか。 不登校の割合が、年度を重ねるごとに高くなっていますが、教育委員会としての対策、各学校としての対策がどのように行われているのか、成果と課題を詳しく知りたいと感じています。 また、令和5年度の「小学校1.08」と「中学校7.48」は県や国と比較するとどうなのでしょう。 加須市立学校も加須市教育委員会も、不登校問題に全力を尽くしていることを保護者や市民に知らせたいと思ひますが、そのことを訴える効果的な数値的材料はあるのでしょうか。 市教育センター（あるいは県総合教育センターなどの専門機関）との連携において、学校復帰を果たした児童生徒の例や効果的な指導法を積極的に周知したり、広めたりすることのほうが重要であると考えます。 また、これまでも述べてきましたが、この事業の評価指標について、いじめについてふれていないことが理解できません。指標が1つとなっているのであれば、事業をいじめと不登校に別々にすべきです。			

加須市のいじめの現状について別記されたことはとても大切なことであります。そのなかで、特に和5年度の解消件数はどうなっているのでしょうか。いじめの認知数と解決数は重要な教育課題の1つであると考えます。解消できなかったいじめについては、結果としてどうなっているのでしょうか。個人的には、認知件数は増加しても、解消件数が同じであればいじめ対策としては適切に行われていると感じております。各学校がいじめの認知件数を増加して報告することに支障が生じないように指導すべきと感じております。

いじめも不登校も、学校現場においては生徒指導上の課題ではありますが、捉え方も対応も全く別のものです。本来は、別々の2つの重要な教育課題を併せた事業になっていることが問題ではないかと考えます。

施策2 不登校対策を中心とした教育相談の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0202-01	2212-02	教育センター運営事業	学校教育部学校教育課
昨年度「概ね達成」であった評価が上がったこと（すべての教職員が満足していること）について、まず、感謝したいと思います。 教育センターの事業内容は、教職員研修だけでなく、不登校問題への対応とした適応指導教室の運営、教育相談の充実（特別支援教育の相談を含む）、教育センターだよりの発行や教育資料の保管・活用といった研究などであり、このうちの教職員研修について、教職員のためにオンライン研修など工夫して取り組まれている成果であると捉えます。 特に不登校問題に対応する適応指導教室の運営や教育相談におけるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや福祉の関係機関と連携を図った実績も示せるとよいと考えます。 さらに、特別支援教育の推進として、個別の発達検査を実施している点についても感謝します。通常の医療機関で実施する場合は、費用もかかるし、かなりの待機期間が必要になります。本市の教育センターの特色の1つであると捉えています。 今後も、教育センターに期待する部分は大きいと思われますが、充実した取組をお願いしたいと考えます。			

施策3 学校等における人権教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0203-01	2513-03	集会所管理運営事業	生涯学習部生涯学習課
小中学生学級や成人学級など、新型コロナの対応として実施できなかったことから、この評価はやむを得ないと考えます。 令和5年5月に5類に移行されたとはいえ、今後は、アフターコロナ時代を考え、集会所運営を検討し、実施していくことが重要ではないでしょうか。 人権教育推進のための1つの事業であると捉えるが、利用者数をもって本事業の目的は達成できるのでしょうか。また、小中学生学級の実施状況は、どうなっているのです			

ようか。

基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

安心安全でおいしい給食を提供していただき、感謝申し上げます。

そのうえに、保護者の経済的負担を考慮して学校給食費の5箇月間の一時的な免除、「ちょこっとおたすけ絆サポート券」の配布は、行政の御努力であるとお礼申し上げます。

給食費収納率99.93%も、保護者、学校、行政が一体となった成果と捉えております。

給食センターが2センター体制となりましたが、このことによる給食提供への影響はなかったのでしょうか、気になるところです。

施策1 安全・安心な給食の提供

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0301-01	2213-01	給食センター管理運営事業	学校教育部学校給食課
毎日、児童生徒に安全安心でおいしい給食を提供していることに感謝したいと思います。 3センターから2センターへと体制が変わる中、事故なく提供できている点は、大きな成果です。 さらに、給食センターが、学期ごとに児童生徒に給食に関するアンケートを実施し、学校栄養士を中心として、給食の改善に日々取り組んでいることにも、ぜひ、目を向けてしたいと思います。 給食費を値上げしない給食センターの御努力に感謝申し上げます。			

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0301-02	2213-06	給食費収納対策事業	学校教育部学校給食課
現年度収納率99.93%は、保護者、学校、行政の協力した成果であると思います。 また、5か月間の学校給食費免除という対応は、加須市として保護者の実情を踏まえた素晴らしい決断だと感じています。 4年度分は完納ということで素晴らしいと思います。5年度分についても引き続き100%に向けて努力していただきたいと思います。			

施策3 健康の保持増進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0303-01	2213-02	小学校健康推進事業	学校教育部学校教育課
0303-02	2213-03	中学校健康推進事業	
指標である児童生徒のう歯治療率ですが、目標値に対して実績が小学校で低下しているところが気になります。学校と連携して、家庭への働きかけをお願いしたいと思います。			

こども医療、歯科医療の実際を保護者へ周知し、意識を高めることで、こどもたちの口腔衛生を促進すべきと考えます。

基本目標4 質の高い教育のための環境づくりを推進します

幼稚園再編計画の策定、小中学校の適正規模・適正配置の検討など、大きな課題に対しての動きに感謝申し上げます。

施策1 安全で安心な教育環境の整備

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0401-03	2141-01	公立幼稚園管理運営事業	こども局こども保育課
実績値（周知数）で目標を上回ったことに、こども保育課や現場の各市立幼稚園の御努力に感謝申し上げます。 保護者や地域へのPRについて、さらに、充実されますようお願いします。			

基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

あいさつ運動、リンクミーティングなど、少しずつコロナ前に戻りつつあることに感謝申し上げます。

さらに、地域の実態や学校の働き方改革を踏まえた地域連携推進をご検討くださいますようお願いいたします。

施策1 学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-01	2215-01	学校いきいきステーション事業	学校教育部学校教育課
加須市は、埼玉県为学校応援団の発祥の地です。幼稚園・学校・家庭・地域が一体となって、こどもの支援、教育活動の支援をすることが本事業の目的と捉えています。 その中で、幼稚園・学校応援団の登録者数の減少という課題は、高齢化と関連することから仕方がないことと捉えています。 一方で、幼稚園や小中学校の現場が、どれくらいの応援団の人数を、どのような分野で必要としているのか。また、その数は、現状で足りているのでしょうか。 学校が必要としているのかいないのかを確認して、事業の方向性を定めていくとよいのではないのでしょうか。 登録者数は本事業の一部であり、実際にこどもたちの健全育成に学校応援団がどう関わったかによって評価となるのではないかと考えます。各幼稚園・学校の実情と併せて今後の事業の方針を検討すべきと考えます。 いずれにしても、コロナの影響で、応援団の幼稚園・学校への直接的な来校や活動等が制限されてきたことは大変ご苦労されていると想像できます。それでも、工夫しながら、こどもたちの登下校を見守る応援団（交通指導員を含む）、実際に教師の片腕となって学習や遊びの支援を行う応援団、草取りや施設設備・環境の修繕等を行う応援団、そ			

の他幼稚園・学校の実情に応じて、協力をいただいている地域の皆様に深く感謝したいと思います。

予算執行率99%も、できる限りの実施をされたと考え、高く評価したいと思います。

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-02	2215-02	地域密着型教育広報事業	学校教育部学校教育課

パネル公開についてはゼロ予算事業ですが、学校に負担がかからない範囲で実施していただき、学校等の情報を広く市民や地域に周知することは重要であると捉えています。

どこにパネルが設置してあるのか、児童生徒、保護者、市民への周知という点でPRしていただきたいと思います。

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-03	2215-06	あいさつふれあい推進事業	学校教育部学校教育課

コロナによる影響が大きいというなかで、本事業が「あいさつ」の大切さを教育委員会や各学校が十分に理解し、工夫して実施されている点が素晴らしいと考えます。コロナ時代においても、やらなくてはならないことをしっかり実施したということです。

駅前キャンペーン、市民祭まつりでも実施されたということ、久しぶりに「あいさつさわやか かぞのまち」が響いたことでしょう。

指標1のアンケートが実施されない理由、承知しました。新たな事業展開に期待します。

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-09	2215-08	通学路安全対策事業	学校教育部学校教育課

本事業は、こどもたちの安心・安全に直結した通学路の整備が主たる目的となっています。

令和5年度も「目標を達成」、しかも実績「100」の継続は素晴らしいです。

執行率97%も充実した事業の証と捉えることができます。ありがとうございます。

本事業は、交通防犯課とは別に、通学路の改善要望にいち早く対応できるよさが真髄です。この事業で対応できない大規模な要望についても、交通防犯課や警察と連携していただきたいと思います。

施策3 青少年の健全育成の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0503-02	2215-07	青少年健全育成事業	生涯学習部生涯学習課

少年の主張大会など観客来場者が少ないのは、寂しいと感じます。キャパの問題であるなら、目標値を修正すべきと考えます。

市民へ広くPRして、少年の主張のよさを広げていただきたいと思います。

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

生涯学習についても、着実にコロナ前に戻りつつあると感じます。

子どもたちだけでなく、市民と一体となって、生涯学習充実が図られていると感謝申し上げます。

施策1 生涯学習活動の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0601-08	2311-13	加須未来館管理運営事業	生涯学習部生涯学習課
加須未来館の年間来館者数が指標であり、コロナの影響があったとは言え、5年度実績が約半数というのは寂しい限りです。 市民の来館はもとより、市外・県外の来館も増加できるように、リニューアルとPRの両方に力を入れていただきたいと思います。 せっかくの素晴らしい施設をプラネタリウムだけに頼っていてはいけないと思います。			

施策3 文化財の保存継承による郷土愛の醸成

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0603-01	2313-04	騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業	生涯学習部生涯学習課
北川辺については、小学校の見学を大いに受け入れたり、出張授業を行ったりして、活用を図ってはいかがでしょうか。 せっかくの施設を有効に活用していただきたいと思います。			

基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくらします

市民の心身の健康増進のため、各種大会の実施、ありがとうございます。

これまでの課題を受けて、さらなる大会等の充実を図っていただきたいと思います。

個人的には、加須こいのぼりマラソン大会が令和6年度からハーフがなくなるのが残念です。

(2) 荻原孝之氏

① 報告書全体に対する総括的な意見等

報告書10ページ以降の「(2) 基本目標の取組状況」では、それぞれの基本目標における素晴らしい取組や成果が紹介されています。関係各課の各事業への取組に敬意を表すとともに、感謝申し上げます。

しかしながら、報告書8ページ、「4. 各事業の点検評価」「(1) 基本目標の達成度表評価」【達成度評価の状況】を見ると、各基本目標の達成度評価は、全ての基本目標に対する評価が昨年度と変わっていません。報告書9ページには、【基本目標の達成度評価基準】及び【事業（取組）の達成度評価基準】が示されていますが、各基本目標の指標数が、最多30指標、最少3指標とかなりの差がある中、この達成度評価基準でいいのか少々疑問が残ります。

また、各事業の意見や感想の部分でも述べさせていただきますが、事業内容に対して指標が適切なのかどうかという疑問が残る事業もございます。点検・評価をし、必要に応じて再考頂きたいと思います。

② 各事業についての意見・感想

基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

家庭用充電アダプターの貸与による学習用端末のさらなる活用の促進、オンラインミニ講座「加須学びDX」の継続など、ICT教育の推進がさらに進んでいることに敬意を表します。是非各事業の指標や評価などに反映させてください。

また、教育活動補助員、スクールスタッフ、AFT、ALT、障害児介助員等の配置は、教員の働き方改革につながると同時に、児童生徒一人一人にきめ細やかな指導や支援を行うために不可欠です。今後も計画的な配置が行われることを願ってやみません。

施策1 幼児教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0101-02	2131-16	幼稚園預かり保育事業	こども局こども保育課
子育て支援として預かり保育を実施し、昨年度に引き続き、希望者全員の預かり保育を実施したことは、本当に素晴らしいことです。 益々多様化するであろう保護者のニーズに対応するためにも、今後、保育士を安定的に確保するなど、預かり保育職員が安心して働ける環境づくりにも配慮していただきたいと思います。			

施策2 一人ひとりを伸ばす教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-02	2211-11	学力アップ事業	学校教育部学校教育課
「加須市チャレンジテスト」をCBTで実施し、加須市独自の分析シートを活用して			

結果を分析し、各校の課題が明確になったようです。今後、各校の課題解決に向けた取組がさらに充実することを期待します。また、正答率については学校間格差もあるのではないかと思います。学力を伸ばしている学校の特徴的な取組等を分析し、市内で共有し活用していただきたいと思います。

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-04	2211-13	中学校英語教育推進事業	学校教育部学校教育課
この事業の指標が、「英語検定３級程度の英語力を有する中３生徒の割合」となっています。まず「英語検定３級程度の英語力」とは、どのような基準で判定しているのでしょうか。また、この事業で実施していることに対しての指標として適切なのでしょうか。 どの教科も同様と思いますが、まずその教科の授業が楽しいと思えるかどうかで生徒の興味・関心は全く変わりますし、学力にも影響すると思います。過去の経験から英語教員と外国語指導助手が良好な関係で、理解しやすく、楽しい授業を行っている時は、学力も高かった記憶があります。 「小学校英語教育推進事業」の二つ目の指標が「外国語活動が楽しいと感じている児童の割合」となっていますが、この事業の指標を「英語の授業が楽しいと感じている生徒の割合」としてはどうでしょうか。			

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-05	2211-20	サイエンススクール事業	学校教育部学校教育課
加須未来館におけるサイエンススクールは本市独自の理科教育として高く評価しています。今年度、全ての小学校の４年生に対して実施されたこと、指標に対する実績が９１％と高評価であったこと、素晴らしいと思います。プラネタリウムの鑑賞や未来館職員による天体の学習に昨年度とは違った工夫がなされたのでしょうか。分析し、今後にいかしていただきたいと思います。			

総振 CD	プラン CD	事務事業名	所管課
0102-08	2211-32	生徒派遣援助事業	生涯学習部教育総務課
交付件数が目標値を下回ったため「やや遅れている」と評価したとありますが、関東大会、全国大会の出場件数を目標に設定していることがおかしいと思います。関東大会、全国大会はそれぞれ厳しい予選があるためなかなか出場できないのが現状です。出場した１５人に対し、自己負担が生じないよう派遣費が規定通り補助できたのであれば、「目標を達成」の評価で良いのではないかと思います。			

施策3 教職員の資質能力の向上

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-01	2211-08	学校訪問指導事業	学校教育部学校教育課
この事業の一つ目の指標が、「埼玉県学力・学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合（児童生徒）」であること。また、評価に対する分析が「各校へのチャレンジシートの配布や加須市チャレンジテストの実施、小規模校に対する人的支援など、一人一人の児童生徒に対してきめ細やかな学習指導を展開し、学力の向上に努めたものの市平均正答率が県平均正答率を下回った。」であること。この事業で実施していることに対しての指標及び評価に対する分析として適切なのでしょうか。 指標及び評価に対する分析が、「学力アップ事業」と同じであることも気になります。 この事業の指標を「学校訪問指導が授業改善に役だった（つながった？参考になった？）と回答した教員の割合」としてはいかがでしょうか。			

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-02	2211-07	学習指導改善研究事業	学校教育部学校教育課
この事業の一つ目の指標が、「埼玉県学力・学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合（児童生徒）」であること。また、評価に対する分析が「各校へのチャレンジシートの配布や加須市チャレンジテストの実施、小規模校に対する人的支援など、一人一人の児童生徒に対してきめ細やかな学習指導を展開し、学力の向上に努めたものの市平均正答率が県平均正答率を下回った。」であること。この事業で実施していることに対しての指標及び評価に対する分析として適切なのでしょうか。 指標及び評価に対する分析が、「学力アップ事業」及び「学校訪問指導事業」と同じであることも気になります。 この事業で実際に行われていることに対する指標及び評価に対する分析をする必要があると思います。			

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-03	2211-15	教師用教科書・指導書措置事業	学校教育部学校教育課
教師用教科書・指導書は、特に若い年代の教員にとって必要不可欠な物であると考えます。今年度も、学級の増設や教員の増員で必要となった教師用教科書・指導書が直ちに100%配布されたことは、当たり前のことのようにですが、素晴らしいことだと思います。			

施策4 ICTを活用した教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0104-01	2211-09	学校ICT教育活用事業	学校教育部学校教育課
「基本目標1：自ら学ぶ力と確かな学力を育成します」の感想でも述べさせていただ			

きましたが、家庭用充電アダプターの貸与による学習用端末のさらなる活用の促進、オンラインミニ講座「加須学びDX」の継続など、ICT教育の推進がさらに進んでいることに敬意を表します。

「学校における働き方改革」を推進するための効果的な方策のひとつとして、ICTを活用した校務の効率化は不可欠であると考えます。その目標が「概ね達成」できたことは素晴らしいことです。この事業の一層の充実を強く望みます。

施策7 自立する力の育成

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-15	2211-18	中学生夢創造チャレンジ事業	学校教育部学校教育課

ふれあい講演会を実施した中学校の割合が増加し、一安心です。「分析を踏まえた改善点」に記述がありますが、「加須市観光大使の紹介」、「謝礼の増額」、「市職員マンパワー活用事業の活用」など、講師選定の学校の負担を少しでも減らす工夫をお願いします。

基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します

いじめや不登校の問題は、加須市のみならず学校における全国的な課題であると認識しております。そのような中、教育センターを中心に、不登校児童生徒の生活改善を図り、学校復帰を目指すための「加須学びサポート『ピア』」の運営、引きこもりがちな不登校児童生徒へのオンラインによる学習支援「加須学びリンク『ピア』」の運営、不登校傾向の児童生徒の交流の場、居場所づくり「加須ステップ『ピア』」の運営など、いずれも素晴らしい取組であると高く評価します。

いじめや不登校の問題は、未然防止が大変重要です。いじめの未然防止、不登校の未然防止についても事業や指標の中で評価できるようにしていただけたらよいと思います。

施策1 いじめ対策の充実

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0201-01	2212-01	いじめ・不登校対策事業	学校教育部学校教育課

「基本目標2：豊かな心を育む取組を推進します」の感想でも述べさせていただきましたが、いじめや不登校の問題は、加須市のみならず学校における全国的な課題であると認識しております。残念ながら加須市の小学校、中学校とも不登校の児童生徒の数が増加してしまいました。そのような中、教育センターを中心に、不登校児童生徒の生活改善を図り、学校復帰を目指すための「加須学びサポート『ピア』」の運営、引きこもりがちな不登校児童生徒へのオンラインによる学習支援「加須学びリンク『ピア』」の運営、不登校傾向の児童生徒の交流の場、居場所づくり「加須ステップ『ピア』」の運営など、いずれも素晴らしい取組であると高く評価します。今後も、あきらめない取組に期待するとともに、スタッフの増員、学校現場との連携・協力の工夫を希望します。

「分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等」に記載がありますが、保護者の意識の

変革、教育委員会の取組の周知などを内容とした「不登校を考える保護者の会」の開催を強く希望します。

また、いじめや不登校の問題は、未然防止が大変重要です。魅力ある学校・学級づくりに各学校の更なる工夫を期待します。

昨年度も述べさせていただきましたが、事業名が「いじめ・不登校対策事業」であるのに、指標が「不登校児童・生徒の割合」だけであるのは違和感があります。「いじめの実態等」の指標が必要ではないでしょうか。

施策2 不登校対策を中心とした教育相談の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0202-01	2212-02	教育センター運営事業	学校教育部学校教育課
教職員にとって有意義な研修会が実施されたことは素晴らしいと思います。 「分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等」に、次年度に向けて、「不登校の解消を目指し研修の内容を見直す」、「教職員の負担を軽減するために、オンラインを活用した研修の充実を図る」と記載されています。是非実現をしてください。			

基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

保護者の経済的負担を軽減するための給食費の一時的免除、保護者を支援するための「ちょこっとおたすけ絆サポート券」の配布など、児童生徒の保護者になりかわって感謝申し上げます。

今後も保護者の経済的負担を増やすことなく、質や量を確保した学校給食が提供されることを願ってやみません。

施策3 健康の保持増進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0303-01	2213-02	小学校健康推進事業	学校教育部学校教育課
0303-02	2213-03	中学校健康推進事業	
昨年度と比較し、小学校ではう歯治療率が低下し、中学校では上昇しました。また、各年度とも、中学校と比較し、小学校のう歯治療率が低い結果になっています。このあたりの原因は何かあるのでしょうか。分析結果や研究結果等はあるのでしょうか。			

基本目標4 質の高い教育のための環境づくりを推進します

近隣自治体で発生した外壁落下事故を受けて実施した公共施設の緊急安全点検の結果を踏まえての安全確保のために必要な対策工事等が実施されたとのこと、素早い対応感謝申し上げます。

児童生徒1人1台端末を学習活動で有効活用するため、ICT支援員を配置したとのこと。何人配置したのかについてはわかりませんが、このような取組が教員の働き方改革につながると考えます。今後の計画等はあるのでしょうか。

施策1 安全で安心な教育環境の整備

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0401-07	2214-04	小学校施設整備事業	生涯学習部教育総務課
0401-08	2214-05	中学校施設整備事業	
長寿命化計画に基づいた全面的なトイレ改修、トイレ洋式化、校舎の木質化やバリアフリーの実施に大いに期待します。 予算に限りがある中での、事業であることは承知しておりますが、引き続き、温水洗浄便座の導入及びL G B T等への対応も含めて、男子用のトイレの個室化を強く希望します。			

基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

保育所、幼稚園、小・中学校の交流やリンクミーティングに取り組みやすい環境にあるのが加須市の大きな特色であると考えます。家庭や地域で健やかな子どもを育む取組として、今後も充実・発展をさせていってください。

施策1 学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-04	2215-03	保・幼・小中一貫教育事業	学校教育部学校教育課
保育所、幼稚園、小・中学校の交流やリンクミーティングに取り組みやすい環境にあるのが加須市の大きな特色であると考えます。その環境を活用し交流が積極的に進められ、目標値を上回ったことは素晴らしいことだと思います。 過去の経験では、家庭科の授業の一環で、幼稚園を訪問した生徒が中学校生活ではあまり見せない一面を発揮し、積極的に交流していたことや中学生の合唱に幼稚園児が言葉をなくして聴き入っていたことなどが記憶にあります。また、本事業とは少々目的が異なりますが、地域のボランティアによる「絵本の読み聞かせ」を定期的で開催したところ、中学生が目を輝かせて聞き入っていたことも記憶にあります。 異年齢間での交流や学区を越えた交流会などは、こんな効果があった…などと言葉では表せない効果や数値化できない効果があると思っています。家庭や地域で健やかな子どもを育む取組として、目に見えない効果、様々な効果があると思います。また、不登校児童生徒の解消にも一定の効果が期待できると思います。今後も是非、充実・発展をさせていってください。			

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

平成国際大学と連携して開校している「加須市シニアいきいき大学」ですが、開講の日に来校するシニアの皆様の生き生きとした姿に、この事業の意義を感じています。せっかくですので、今後、学生達ともふれあう機会ができればさらに素晴らしいのではないかと、個人的に考えています。

施策1 生涯学習活動の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0601-06	2311-05	シニアいきいき大学事業	生涯学習部生涯学習課
大学からの要請で人数制限があるが、令和5年度も募集定員を上回る申込があったとのこと。開講の日に来校するシニアの皆様の生き生きとした姿に、この事業の意義を感じています。目標人数には達していないが、当初の目標は十分に達していると思います。 アンケートを実施するなどして、指標を「生涯にわたる学びの支援」になっているかどうかにはしてはいかがでしょうか。			

基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくりま

す

女子硬式野球やクライミング、マラソン大会など全国規模の大会が開催され加須市のイメージアップや競技の普及に大いに貢献していると高く評価しています。

また、施設の不具合による事故発生件数0件が継続しています。素晴らしいことだと思います。関係の皆様のご努力に敬意を表します。

施策1 スポーツ参画人口の拡大

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0701-15	2411-15	総合型地域スポーツクラブ育成事業	健康スポーツ部スポーツ振興課
「総合型地域スポーツクラブ育成事業」が、中学校部活動の地域移行の一翼を担う役割として、進行していくことを期待します。 また、平成国際大学との連携・協力についても前向きに進めることを期待します。			

施策2 スポーツを核とした交流人口の拡大

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0702-01	2412-01	女子硬式野球振興事業	健康スポーツ部スポーツ振興課
令和6年度に開催された、第9回WBSC女子野球ワールドカップにおいて、日本が7連覇の偉業を達成しました。この代表選手の中には、加須市で開催された高校や大学、社会人の大会に選手として出場し活躍した選手が多数含まれています。ちなみに、平成国際大学関係では、在校生1名、卒業生1名が日本代表として選出され大活躍しました。また、台湾代表として在校生1名が選出されています。本事業の目に見える成果であると大いに感謝しています。 今後、「全国大会等支援事業」とともに、事業の継続及び拡大を期待します。			

7 おわりに

加須市教育委員会では、令和３年度から「第２次加須市人づくりプラン」に基づいて、本市教育の振興に取り組んでいます。

「第２次加須市人づくりプラン」では、「家族・地域の絆を大切に、生きる力を醸成する」を基本理念に、令和７年度までの５年間に取り組む７つの基本目標と２６の施策を設定しています。

令和５年度は、このプランに位置付けられた１５５の事業の中から、教育委員会の権限に属する９０事業及び教育委員会運営事業など体系外の３事業を加えた９３事業を対象に、事務事業の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成いたしました。

今回、元大桑小学校校長の新井信男氏及び平成国際大学特任教授荻原孝之氏の２名の学識経験者から貴重な御意見をいただきました。これらの御意見を生かしながら、自己評価に対する分析を踏まえ、今後の取組の改善につなげてまいります。

最後に、点検評価に当たり、貴重な御意見を頂きました学識経験者の方々に、心から御礼申し上げます。

令和６年９月
加須市教育委員会